

御殿場市と小山町のすがた

西に霊峰富士を仰ぎ、東に箱根外輪山・北に丹沢山地に囲まれた美しい自然と緑豊かな高原に御殿場市と小山町がある。

この地に人類が住みついたのは、6～7千年前の縄文時代といわれ、遺跡からは土器や住居跡が多数発見されている。この地は度重なる富士山の噴火による、苦難な歴史の中で集落ができたとおもわれる。歴史に残る宝永4年の大噴火により、大量に降った砂は、富士山麓を3メートル～6メートルの深さで覆いつくすという大災害となった。この大災害は、時の関東郡代伊奈半左衛門の活躍により復旧がなされ、その功績は大きく後の世にも語りつがれている。

鎌倉時代には、源頼朝によって巻狩が富士の裾野一帯で行われた。この巻狩に因んだ多くの伝説や地名が管内各地に残っている。

戦国時代には、交通の重要地点であったので、めまぐるしい攻防が行われた。何度か領主が変わった後、寛永10年、小田原藩に組み込まれた。宝永4年の富士山噴火以降一時期幕府領となったが、噴火から40年後に小田原藩領に復帰した。明治維新後駿府に編入され、明治4年の廃藩置県が実施されると、駿府藩は静岡県となった。

昭和28年の町村合併促進法により、現在の御殿場市と小山町が生まれた。

昔、富士講と呼ばれた人達が富士山に登ったが、明治22年に東海道線開通で御殿場駅が設置されると、夏の登山期には、御殿場口、須走口は全国からの富士登山者で賑わった。今では御殿場口は新五合目まで車で直行し、須走口はマイカー規制によりバス・タクシー等の交通機関を利用しての登山が主になっている。

管内は富士・箱根・伊豆国立公園の国際観光地の中心地にあり、東名高速道路や国道246号線、国道138号線、国道469号線、東富士五湖道路といった幹線道路が通っている。こうした交通の要所であるため交通渋滞がしばしば発生している。

地形としては、御殿場市のほぼ中央が南北の分水嶺となり、霊峰富士の雪どけ水は、それぞれ相模湾と駿河湾に注いでいる。

管内には広大な大草原といわれている大草原を有しており、古くは源頼朝の富士の巻狩に、明治後期からは旧日本陸軍の演習場として使用されていた。昭和34年に東富士演習場使用協定が結ばれ、現在、演習場は自衛隊が使用し、陸上自衛隊富士学校や3つの駐屯地があり自衛隊の街として知られている。同時に周辺住民の生活環境改善事業が行われている。

産業経済では、小山町に明治29年に富士紡績が創設され、その後自然環境に恵まれた御殿場市や小山町に多数の工場が進出し、研修施設、保養所等が建設された。更に、駒門工業団地、神場工業団地、富士御殿場工業団地、板妻南工業団地、富士小山工業団地、ハイテクパーク富士小山、研修所施設を中心とした御殿場市と小山町にまたがる東富士リサーチパークの開発も進んでいる。レジャー産業の一つであるゴルフ場も多く御殿場市に11ヶ所、小山町には11ヶ所の合計22ヶ所がある。

日本が誇る富士山、その麓に位置する御殿場市では富士山が与えてくれる豊かな自然環境に調和し、さらにこれを育むまちづくりと、雄大な富士山にふさわしい、心が大きくて思いやりのある人づくりを進め、だれもが生きがいと誇りを持って暮らすことができる、人と環境が共生するまちを将来都市像「緑きらきら、人いきいき、御殿場」として表している。小山町では「富士のふもと 人々のふれあう心豊かなふるさと・おやま」をテーマに、先人が守り育ててきた富士山をはじめとする豊かな自然や歴史を町の誇りとし、人と人、人と自然などのふれあいをとおして、美しい自然を守り、快適な町民生活と特色ある文化を創造していくことを目標としている。

特産物では、富士山の雪どけ水を利用した水かけ菜は全国的に知られ、良質なわさびも栽培されている。

気候は、夏涼しく東海の軽井沢といわれ、快適な生活を過ごすことができる。また、雨量と霧（ガス）が多いことが原因で、湿度が高く、山に囲まれているため天候が変わりやすく、この地方だけに雨が降ることも多い。この現象は昔から「みくりやのわたくし雨」と呼ばれている。

消防本部・消防署の沿革

昭和40.	4.	1	政令指定により、御殿場市萩原483番地に御殿場市消防本部・消防署を設置。御殿場市助役が消防長に就任し、職員33人（職員定数36人）指令車1台、消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台で業務開始
	5.	1	消防職員2人採用
昭和41.	4.	1	消防職員1人採用、職員数36人（職員定数36人）
昭和42.	4.	1	消防職員1人採用、職員数36人（職員定数36人）
	10.	1	消防職員4人採用、職員数40人（職員定数40人）
	11.	1	救急自動車（救急1号車）1台を購入 救急業務開始 小山町と救急業務に関する協定を締結し、小山町の救急業務開始
昭和43.	1.	1	消防職員1人採用
	4.	1	社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
	6.	1	消防職員1人採用
	7.	11	財団法人日本消防協会から救急自動車（救急2号車）1台が寄贈され消防署に配置
昭和44.	3.	20	東名高速道路（御殿場～沼津インターチェンジ間の下り線）の救急等消防業務開始
	4.	1	消防職員10人採用、職員数49人（職員定数50人）
	4.	10	消防職員1人採用、職員数50人（職員定数50人）
	4.	13	社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
	5.	26	東名高速道路（御殿場～大井松田インターチェンジ間の上り線）の救急等消防業務開始
昭和45.	4.	1	消防職員3人採用、職員数49人
昭和46.	4.	1	小山町との厚生施設組合を改組し、新たに常備消防業務を含めて御殿場市・小山町広域行政組合を設立 消防職員3人採用、職員数50人（職員定数72人）
昭和47.	1.	1	消防職員5人採用
	2.	1	消防職員6人採用
	4.	1	消防職員10人採用、職員数71人（職員定数72人） 御殿場市役所新庁舎開庁、併せて御殿場市・小山町広域行政組合新消防庁舎開庁、消防本部・消防署の業務開始 駿東郡小山町菅沼359番地の2に御殿場市・小山町広域行政組合消防署小山分署を設置。職員18人、消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台で業務開始
	4.	5	指令車1台と作業車1台を購入
	4.	21	社団法人日本損害保険協会から救急自動車（救急1号車）1台が寄贈され本署に配置
昭和48.	4.	1	消防職員4人採用、職員数71人（職員定数72人）
	7.	1	消防職員1人採用
	12.	19	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、本署に配置
昭和49.	2.	19	救助工作車1台を購入、本署に配置
	4.	1	消防職員4人採用、職員数76人（職員定数76人）
	5.	30	本署救急自動車（救急1号車）1台更新
	6.	1	本署救急自動車（救急1号車・救急2号車）の名称入替変更
昭和49.	9.	28	本署消防ポンプ自動車更新

	10.	1	富士岡地区の消防業務充実のために分遣所設置決定 設置されるまでの期間、仮設待機所を建設、職員3人、水槽付消防ポンプ自動車を昼間のみ配置して業務開始
昭和50.	4.	1	消防職員6人採用、職員数82人（職員定数82人） 社団法人日本損害保険協会から救急自動車（救急1号車）1台が寄贈され本署救急自動車（救急1号車）を更新 更新前本署救急自動車を（救急3号車）として配置
	9.	1	水難救助機器を購入
	9.	17	本署水槽付消防ポンプ自動車更新
	12.	17	小山分署指令車を広報車（広報2号車）として本部に配置 駿河信用金庫から指令車2台が寄贈され、消防本部（更新）と小山分署に配置
昭和51.	3.	19	消防本部広報車（広報1号車）更新
	4.	1	消防音楽隊を編成
	6.	21	消防水難救助隊を編成
	7.	8	化学消防ポンプ自動車を購入し、本署に配置
	10.	1	御殿場市中山473番地の1に御殿場市・小山町広域行政組合消防署富士岡分遣所を設置。職員10人、水槽付消防ポンプ自動車1台で業務開始
昭和52.	4.	1	消防職員4人採用、職員数84人（職員定数86人）
昭和53.	1.	1	消防職員1人採用
	3.	7	消防庁長官から竿頭綬受賞
	3.	20	救急一斉指令装置を導入、運用開始
	4.	1	通信指令室及び管理課企画広報係を新設
	8.	1	日本テトラパック(株)から赤バイ2台が寄贈され、本署に配置
	8.	29	財団法人日本船舶振興会から救急自動車1台寄贈され、小山分署救急自動車を更新
	9.	28	富士岡分遣所に作業車を配置 小山分署に作業車を配置
	10.	1	本署に作業車を配置
昭和54.	4.	1	消防職員5人採用、職員数90人（職員定数91人）
	4.	1	当直司令制度運用開始
	7.	24	静岡県トラック協会から救急自動車1台が寄贈され、本署救急自動車（救急2号車）を更新 更新前救急自動車（救急2号車）を予備車として富士岡分遣所に配置
	8.	8	消防本部広報車（広報2号車）更新
	10.	1	富士岡分遣所に職員2人増員 富士岡分遣所で救急業務開始
昭和55.	4.	1	消防職員13人採用、職員数102人（職員定数103人）
	11.	1	小山町須走293番地の1に御殿場市・小山町広域行政組合消防署須走分遣所を設置、職員13人、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台で業務開始 各分遣所長を補佐級とする 富士岡分遣所の職員を1人増員 東海精機(株)から自記気象観測装置と消防無線機が寄贈される
	12.	19	高所放水作業車を購入、本署に配置
昭和56.	9.	21	社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台が寄贈され小山分署水槽付消防ポンプ自動車を更新
昭和56.	10.	31	本署救急自動車（救急1号車）と富士岡分遣所救急自動車を更新
	11.	16	小山分署消防ポンプ自動車更新

- 昭和57. 1. 1 消防職員1人採用
3. 23 社団法人日本損害保険協会から救急自動車1台が寄贈され、小山分署救急自動車を更新
4. 1 消防本部・消防署組織の機構改革実施、本部は管理課（管理係・消防係・企画広報係）・予防課（予防係・指導係・危険物係）・警防課（警防係・教養係）で構成、消防署は本署（庶務係・機械係・査察係・救急救助係・通信指令係）と、消防署小山分署、消防署富士岡分遣所、消防署須走分遣所で構成
本署当直に当直司令制採用、補佐が当直司令に当たる
10. 19 財団法人日本防火協会から御殿場市小山町防火協会に広報車が寄贈され、消防本部広報車（広報3号車）として配置
- 昭和58. 2. 22 米軍キャンプ富士（滝ヶ原）司令官と消防相互援助協約を締結
11. 1 富士岡分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新
- 昭和59. 1. 1 消防長が専任となる
4. 1 消防職員2人採用、職員数103人（職員定数103人）
12. 21 本署消防ポンプ自動車更新
- 昭和60. 4. 1 消防職員3人採用、職員数106人（職員定数111人）
12. 9 消防本部指令車更新
12. 25 小山分署作業車更新
- 昭和61. 1. 14 本署作業車更新
3. 14 社団法人日本損害保険協会から救急自動車1台が寄贈され、本署救急自動車（救急2号車）更新
4. 1 消防職員4人採用、職員数108人（職員定数111人）
消防本部に通信指令室を置き、管理課消防係を警防課に編入、消防署機械係を警防係に名称変更
6. 20 富士岡分遣所の作業車更新
8. 29 査察車を1台購入、予防課に配置
- 昭和62. 3. 12 米軍キャンプ富士（滝ヶ原）司令官と消防相互援助協約を変更締結
3. 30 本署水槽付消防ポンプ自動車更新
4. 1 消防職員5人採用、職員数114人（職員定数119人）
消防本部管理課に人事係新設
4. 24 本署水槽付消防ポンプ自動車更新により不要になった水槽付消防ポンプ自動車を中国蘭州市へ寄贈
12. 1 消防職員1人採用
12. 24 本署救急自動車（救急1号車）、消防本部広報1号車更新
東名高速道路（御殿場～沼津インターチェンジ間の下り線）の消防及び救急業務が裾野インターチェンジ開設に伴い御殿場～裾野インターチェンジ間の下り線に変更される
- 昭和63. 4. 1 消防職員3人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）116人（職員定数119人）
7. 23 赤バイ2台を老朽化により廃車
10. 21 須走分遣所救急自動車更新
11. 29 東名上り線63KPで発生した車両火災（06：32）に出動中の本署水槽付消防ポンプ自動車の後続車に追突され横転大破、消防職員5人が負傷
12. 17 小山分署指令車更新
- 平成元. 1. 7 消防本部広報車（広報2号車）更新
平成元. 4. 1 消防職員1人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）116人（職員定数119人）小山分署で小山町消防団事務開始
6. 29 本署水槽付消防ポンプ自動車更新

平成	2.	2. 14	本署救助工作車更新
		3. 22	富士岡分遣所救急自動車更新
		4. 1	消防職員5人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）120人 （職員定数119人）
		9. 25	須走分遣所連絡車更新
平成	3.	3. 12	本署化学消防ポンプ自動車更新
		3. 15	小山分署救急自動車更新
		4. 1	消防職員4人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）120人 （職員定数119人）
		9. 12	社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台が寄贈され、富士岡分遣所水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	4.	2. 10	本署救急自動車（救急1号車）更新
		3. 19	小山分署水槽付消防ポンプ自動車更新
		4. 1	消防職員1人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）120人 （職員定数119人）
		8. 31	新消防庁舎工事起工式
平成	5.	3. 15	本署救急自動車（救急2号車）更新
		3. 22	須走分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新
		4. 1	消防職員2人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）122人 （職員定数134人）
			完全週休2日制実施
平成	6.	4. 1	御殿場市と係長級1名の人事交流を実施 消防職員7人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）126人 （職員定数134人）
		4. 2	御殿場市東田中一丁目19番1号に消防庁舎が移転し、業務開始 消防緊急通報指令施設（Ⅱ型）運用開始 静岡県総合情報ネットワーク運用開始
		4. 22	御殿場市小山町危険物安全協会、御殿場市小山町防火協会から広報車1台寄贈され消防本部広報車（広報3号車）更新
		4. 28	消防庁舎落成式
		7. 27	消防無線救急波の運用開始
		11. 18	はしご付消防ポンプ自動車（30m級）を購入し、本署に配置し 本署高所放水作業車廃車
平成	7.	1. 31	小山分署消防ポンプ自動車更新
		4. 1	消防職員6人採用、職員数（御市総務課付職員1人含）131人 （職員定数134人）
		6. 30	全国消防機関による緊急消防援助隊発足（東京）
		7. 31	化学防護服（ワークマスタープロ）3着購入
		8. 20	聴覚言語障害者の緊急通報システム運用開始
		8. 22	静岡県緊急消防援助隊の編成にかかる協議の結果、御殿場小山消防本部は、消火隊1隊を県外応援可能隊とする
		9. 5	静岡県は、緊急消防援助隊を編成し消防庁に登録 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部消火隊は、常時出動可能 体制維持開始
		10. 18	震災対策用後方支援資機材（テント・シュラフ等）購入
		10. 19	特殊作業服（戦闘用防護衣一式）12着購入
平成	7.	10. 30	緊急消防援助隊要綱制定 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部に部隊旗が交付
		11. 27	小山分署作業車更新
平成	8.	3. 11	本署消防ポンプ自動車更新

	3.	2 2	震災対策用救助資機材（油圧救助器具等）購入	
	4.	1	消防職員 5 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含）1 3 3 人 （職員定数 1 5 0 人） 東名高速道路上り線無線不感地帯対策として前進基地局整備	
	6.	5	富士岡分遣所連絡車更新	
	7.	2	震災対策用救助資機材（ファイバースコープ等）購入 災害情報収集用オートバイ 2 台購入	
	7.	3 1	消防本部指令車更新	
	8.	3 1	静岡県総合防災訓練	
	9.	1	静岡県総合防災訓練	
平成 9.	2.	1 3	小山分署庁舎増築工事 2 5 9. 2 4 m ²	
	2.	1 8	須走分遣所救急車（2 B 型）更新	
	4.	1	消防職員 4 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含）1 3 7 人 （職員定数 1 5 0 人）	
	6.	2 0	西分遣所庁舎建設工事起工式	
平成 1 0.	1.	2 5	西分遣所応急作業車購入	
	2.	1 2	西分遣所水槽付消防ポンプ自動車購入	
	2.	2 3	西分遣所救急車（2 B 型）購入	
	3.	1 4	西分遣所庁舎建設工事落成式	
	4.	1	消防職員 8 人採用（内女性 2 人）、職員数（御市総務課付職員 1 人含）1 4 4 人（職員定数 1 5 0 人） 西分遣所運用開始 職員 1 5 名配置	
	1 1.	3 0	富士岡分遣所庁舎耐震補強及び事務所増築工事 1 6. 7 1 m ²	
平成 1 1.	3.	1 6	小山分署救助工作車購入	
	4.	1	消防職員 4 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含）1 4 7 人 （職員定数 1 5 0 人） 消防本部・消防署の組織改革により課内のスタッフ制全面移行	
	8.	1 8	消防本部査察車更新	
	1 2.	2 1	須走分遣所庁舎耐震補強及び事務所増築工事 1 7. 5 7 m ²	
平成 1 2.	2.	2 4	高規格救急自動車を購入し本署に配置、更新前の救急車を富士岡分遣所に配置し、富士岡分遣所の救急自動車を廃車	
	4.	1	消防職員 3 人採用（内女性 1 人）、職員数（御市総務課付職員 1 人含）1 4 9 人	
	1 1.	1 5	社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 1 台が寄贈され、本署水槽付消防ポンプ自動車を更新	
平成 1 3.	3.	1 6	小型動力ポンプ付水槽車を購入、本署に配置	
	4.	1	消防職員 6 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含）1 5 0 人	
	1 2.	1 4	小山分署指令車更新	
	1 2.	1 5	小山分署耐震補強工事完了	
	1 2.	2 1	本部広報 1 号車更新	
平成 1 4.	4.	1	消防職員 3 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含）1 5 0 人 消防機構を見直し、小山分署を小山消防署とし富士岡分遣所・須走分遣所・西分遣所を富士岡分署・須走分署・西分署とする	
	9.	4	須走分署作業車更新	
	1 1.	1 9	消防本部広報 2 号車更新	
平成 1 5.	2.	2 6	小山消防署救急車更新（高規格救急車）	
平成 1 5.	4.	1	消防職員 3 人採用、職員数（御市総務課付職員 1 人含）1 4 8 人 御殿場市役所派遣 1 人	
平成 1 6.	3.	1 0	御殿場消防署富士岡分署救急車更新（高規格救急車）	
	4.	1	消防職員 5 人採用、職員数 1 4 8 人（御殿場市役所派遣 1 人）	
平成 1 7.	2.	7	御殿場消防署救助工作車更新（Ⅱ型四駆）	

	4.	1	消防職員 2 人採用、職員数 1 4 7 人（御殿場市役所派遣 1 人）
	1 2.	2 0	御殿場ライオンズクラブから火災予防広報車が寄贈され、消防本部連絡車を更新
平成 1 8.	2.	1 6	御殿場消防署西分署救急車更新（高規格救急車）
	3.	1 5	小山消防署訓練塔建設 A・B 塔 建築面積 6 1. 6 m ²
	4.	1	消防職員 7 人採用、職員数 1 4 7 人（静岡県消防学校派遣 1 人）
平成 1 9.	2.	1 6	御殿場消防署富士岡分署水槽付ポンプ自動車更新
	3.	9	小山消防署水槽付ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員 5 名採用、職員数 1 4 9 人（静岡県消防学校派遣 1 人）
平成 2 0.	3.	1 3	小山消防署須走分署水槽付ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員 3 人採用、職員数 1 4 8 人（御殿場市役所派遣 1 人） 須走彰徳山林会から AED 及び AED 講習会用資器材一式が寄贈される
	1 1.	1 1	御殿場市小山町防火安全協会から防火指導車が寄贈される
平成 2 1.	4.	1	消防職員 4 人採用、職員数 1 5 0 人（御殿場市役所派遣 1 人）
	1 2.	1 1	小山消防署作業車更新
平成 2 2.	3.	1 6	消防緊急通信指令施設 II 型更新
	4.	1	消防職員 5 人採用、職員数 1 5 2 人（御殿場市役所派遣 1 人）
	1 0.	2 2	小山消防署須走分署救急車更新（高規格救急車）
	1 1.	1 5	全国共済農業協同組合連合会静岡県本部及び御殿場農業協同組合から救急車が寄贈され、御殿場消防署救急 1 号車を更新（高規格救急車）
平成 2 3.	2.	2 4	御殿場消防署化学消防ポンプ自動車（II 型）更新
	4.	1	消防職員 4 人採用、職員数 1 5 1 人（御殿場市役所派遣 1 人）
平成 2 4.	2.	8	御殿場消防署救急車更新（高規格救急車）
	3.	1	静岡県防災ヘリコプター航空隊派遣 1 名
	4.	1	消防職員 4 人採用、職員数 1 5 3 人（御殿場市役所派遣 1 人）
	7.	3 0	消防本部査察車更新
平成 2 5.	2.	2 2	小山消防署救急車更新（高規格救急車）
	2.	2 7	総務省消防庁から後方支援車が貸与された
	4.	1	消防職員 5 人採用、職員数 1 5 5 人（御殿場市役所派遣 2 人）
平成 2 6.	2.	2 1	小山消防署消防ポンプ自動車 更新
	2.	2 5	御殿場消防署富士岡分署救急車 更新（高規格救急車）
	3.	4	土屋昌美様から軽貨物自動車が寄贈され、御殿場消防署富士岡分署作業車を更新（ダイハツ軽トラック 1 台）また、救急資機材も寄贈された（エアウェイスコープ 2 台）
	3.	3 1	団塊の世代 消防職員 1 0 人が退職する
	4.	1	消防職員 5 人採用、職員数 1 5 1 人（御殿場市役所派遣 1 人）
平成 2 7.	2.	1 8	御殿場消防署消防ポンプ車更新
	4.	1	消防職員 6 人採用、職員数 1 5 1 人（御殿場市役所派遣 2 人）
	1 2.	1 5	消防デジタル無線運用開始
平成 2 8.	4.	1	消防職員 6 人採用、職員数 1 5 3 人（御殿場市役所派遣 2 人）
	1 1.	1 6	消防本部指令車更新
平成 2 9.	2.	2 0	御殿場消防署西分署水槽付ポンプ自動車更新
	4.	1	消防職員 6 人採用（内女性 1 人）、職員数 1 5 3 人（御殿場市役所派遣 1 人、広域行政組合事務局出向 1 人）
平成 3 0.	2.	7	小山消防署救助工作車更新
	2.	1 5	御殿場消防署指揮車更新
	4.	1	消防職員 8 人採用、職員数 1 5 2 人（御殿場市役所派遣 1 人、広域行政組合事務局出向 1 人）

平成30. 6. 15 須走分署作業者車更新
平成31. 1. 17 消防本部御殿場本部2更新
1. 30 西分署御殿場救急4更新
4. 1 消防職員4人採用、職員数154人（御殿場市役所派遣1人、広域行政組合
事務局出向1人、五輪組織委員会派遣1人、県消防学校派遣1人）

主 な 災 害

- 昭和41. 3. 5 富士山麓太郎坊原野に英国海外航空（BOAC）ボーイング
707型機が墜落し乗員乗客124人全員死亡
9. 24～25 台風24号と26号が日本列島を縦断する 御殿場市の被害は
負傷者2人、住家全壊6戸、半壊382戸、床下浸水多数、罹災
世帯2,231世帯、罹災者11,155人、
被害総額6億9,109万円
御殿場市に初めて「災害救助法」適用
小山町では家屋の倒壊15戸、床下浸水17戸、田畑の流出・
埋没33ヶ所、被害総額は3,062万円
- 昭和43. 1. 10 御殿場市新橋（御殿場駅前繁華街）から出火 重軽症者8人、
焼損棟数18棟、焼失面積1,106㎡、損害額8,006万円
- 昭和45. 11. 2 御殿場市川島田の中学校から出火 焼失面積560㎡、損害額
1,435万円
- 昭和46. 9. 22 御殿場市東田中の給油取扱所から出火 死者1人、重軽傷者3
人、焼失面積207㎡、損害額821万円
11. 1 御殿場市駒門（自衛隊前飲食店街）から出火 死者1人、焼損
棟数6棟、焼失面積623㎡、損害額3,017万円
- 昭和47. 2. 1 東名高速道路下り線94.5KPで、車両37台の多重追突事
故により出火 死者2人、重軽傷者31人、焼損車両7台、損害
額5,500万円
3. 20 富士山新2合目付近の雪崩遭難事故により、死者24人、延べ
出動人員約4,000人、現場稼働車両等65台
7. 12 静岡県東部に集中豪雨 御殿場市では床上・床下浸水138世
帯、田畑の流出冠水等672ha、被害総額2億5,393万円
小山町では死者2人、災害出動中の消防団員1人が行方不明、負
傷者8人、住家全壊29戸、流失4棟、非住家全半壊18戸、床
上浸水210戸、罹災世帯250世帯 罹災者数1,713人、
被害総額23億306万円
- 昭和48. 11. 23 小山町大御神のレース場でレーシングカー事故により出火死者
1人、負傷者4人、レーシングカー全焼4台
損害額2億3,679万円
- 昭和49. 6. 2 小山町大御神のレース場でレーシングカー事故により出火死者
2人、負傷者5人、レーシングカー4台全焼、レーシングカー3
台部分焼、損害額4,328万円
- 昭和50. 12. 4 御殿場市大坂の工場（スチール家具製造）から出火 焼失面積
1,440㎡、損害額1億2,500万円
12. 12 御殿場市大坂の工場（シール製造）から出火 機械等を焼失、
焼失面積320㎡、損害額3,000万円
- 昭和53. 1. 1 御殿場市中清水の神社より出火 焼失面積79㎡
損害額1,900万円
3. 25 御殿場市新橋（新天地OK横丁）から出火。15店舗及び1旅
館が焼失、焼失面積777㎡、損害額4,500万円
- 昭和54. 2. 18 御殿場市新橋（御殿場駅前味一番街）から出火。7店舗焼失、
焼失面積316㎡、損害額1,604万円
10. 19 台風20号による御殿場市の被害は、住宅全壊10戸、半壊4
戸、流失1戸、床上浸水42戸、床下浸水810戸で、総雨量
300mm、損害額23億394万円
- 昭和54. 10. 19 この豪雨で米軍キャンプ富士敷地内のガソリン貯蔵袋が破損し、

- 大量のガソリンが立ち並ぶ兵舎内に流入し、ストーブの火により出火、隣接する建物に次々に引火し、死傷者約50人、焼損棟数全焼14棟、半焼1棟、部分焼3棟、延焼失面積1,385㎡、損害額2,982万円
- 小山町の被害は、死者1人、住家全壊5戸、半壊2戸、一部破損3戸、非住家全壊4戸、半壊3戸、流失3戸、一部破損1戸、床上浸水33戸、床下浸水129戸、損害総額27億4,823万円、総雨量237mm
12. 15 御殿場市新橋（駅前中野交差点付近商店街）から出火 焼失5店舗、焼失面積1,342㎡、損害額1億7,000万円
- 昭和55. 7. 24 小山町小山の工場（紡績）で落雷により出火 焼失面積135㎡ 損害額3,378万円
- 昭和56. 9. 5 陸上自衛隊のヘリコプターが御殿場市中畑地先の演習場内に墜落 2人死亡
- 昭和57. 6. 8 神奈川県大井町へ行方不明者捜索出動 他57年中に5件の行方不明者の捜索出動
8. 1 台風10号による御殿場市の被害は、住家半壊5戸、一部破損1戸、床上浸水21戸、床下浸水107戸、損害総額18億530万円、総雨量555mm
- 小山町の被害は住家全壊2戸、住家半壊3戸、一部破損35戸、床上浸水7戸、床下浸水84戸、損害総額36億9,850万円 総雨量457mm
- 昭和58. 3. 11 小山町茅沼の公民館から出火 焼損棟数1棟、焼失面積106㎡ 損害額1,152万円
8. 8 神奈川県西部を震源に、M5.8、震度5程度の地震が発生 御殿場市では家屋及び石垣等の被害4ヶ所 小山町では軽傷者1人、家屋道路、橋梁、河川、農業施設、農地、文教公共施設、水道、電気通信、企業等157ヶ所の被害、被害総額4億4,775万円
- 昭和59. 9. 28 御殿場市茱萸沢の工場で100円ガスライターのガス漏洩により出火 焼損棟数3棟、焼失面積362㎡、ライター164万個焼失、損害額5,512万円
- 昭和60. 5. 5 御殿場市茱萸沢の工場から出火 焼損棟数1棟、焼失面積427㎡ ライター216万個焼失、損害額9,031万円
12. 13 御殿場市保土沢の工場（車両座席シート製造）から出火 焼損棟数1棟、焼失面積189㎡、損害額2,836万円
- 昭和61. 3. 8 小山町須走でトラックの積載品が荷くずれ落下し、積載品100円ガスライターのガス漏洩により出火 焼損車両1台、ライター15万6千個を焼失、損害額486万円
- 昭和63. 10. 25 小山町須走の東富士五湖道路籠坂トンネル工事現場で、時限発火装置により出火、工事車両3台が焼失、損害額268万円
10. 28 御殿場市沼田の集会場から出火 焼失面積84㎡、損害額1,065万円
11. 4 御殿場茱萸沢でトラックが荷くずれを起こし、積載品の100円ガスライターからの漏洩したガスにより出火 焼損車両1台、ガスライター13万6千個を焼失、損害額343万円
- 平成 3. 6. 22 御殿場市川島田の作業所（車庫）で不発弾の爆発事故 この事故に伴い出火 死者2人、現場付近にいた主婦等3名が負傷、焼損棟数全焼1棟、付近の民家14戸の窓ガラスが割れる被害、焼失面積199㎡、損害額2,132万円
- 平成 7. 4. 20 金時山頂で急病人 救助隊が出動、救出活動（救出1名）

- 平成 7. 6. 1 金時山頂付近で中学生滑落事故 救助隊が出動、県警・防災ヘリコプターと連携し救出（救出1名）
8. 10 東名高速道路上り線64.9KPで発生した交通事故で、大型観光バスが大破 バスの乗員乗客43人（死者3人、重軽症者40人）を足柄上消防、神奈川県警高速隊、道路公団と連携し救出（使用車両20台、人員45人）
- 平成 8. 3. 6 東京電力（株）新富士変電所で地震動により変圧器から絶縁油が漏れアークにより出火、損害額2,200万円
- 平成11. 11. 15 御殿場市萩原地先で建設中の木造3階建て教場及び共同住宅から出火、焼損棟数1、焼損面積1,950㎡、車両16台焼失、損害額6億413万円
- 平成12. 12. 16 御殿場市神山地先から出火、鉄骨造平屋2棟を焼失、焼損棟数2棟焼損面積356.4㎡、車両1台、損害額3,075万円
12. 30 小山町小山地先の店舗併用住宅から出火、焼損建物店舗併用住宅3棟、物置2棟を焼失、焼損面積440.94㎡、損害額2,472万円
- 平成13. 7. 24 鉄砲水の久保川で富士岡中学校生徒1名が行方不明、消防団、消防署、県防災ヘリコプターが出動、捜索（捜索人員延べ530人）
7. 25 水難救助隊により、水死者1名を発見収容
- 平成14. 3. 1 平成13年9月11日、米国の同時多発テロ事件に伴い、総務省消防庁より、生物・化学テロ対応資機材として陽圧式化学防護服5着、生物剤検知紙1式、有毒ガス検知管1式、化学剤検知紙1式、化学剤検知管1式、除染シャワー1式、中和剤散布器2器、防毒マスク18式を貸与
- 平成15. 5. 3 御殿場市中畑で不発弾爆発事故 死者1名
- 平成16. 1. 14 国道246号線、萩原北交差点付近にて大型貨物自動車8台による多重追突事故 救助工作車2台、ポンプ隊（水槽付消防ポンプ車）2隊、救急隊5隊、隊員25人が出動し、4名の要救助者を救出
10. 21 御殿場市深沢地先、のんと橋、台風23号の影響で男性1名が水死 救助工作車1台、消防ポンプ自動車1台、指令車1台、資機材搬送車1台、救急車1台、隊員24人が出動
12. 5 台風27号の影響で御殿場市塚原地先にて家屋が倒壊、負傷者3名、救急隊1隊3人が出動
- * 平成16年の台風上陸個数は、気象庁の統計開始以来の記録（6個）を大きく更新し10個を記録
- 平成17. 8. 15 富士山御殿場口、大石茶屋付近にパラグライダーが墜落。指揮車1台救急車1台、山岳救助班2隊が出動
9. 13 国道138号線、仁杉バス停付近にて自衛隊トレーラーによる多重追突事故 救助工作車1台、化学車1台、救急車5台が出動し負傷者12名を搬送
- 平成18. 4. 2 東名高速道路下り線91.1KP付近にて9台が関連した多重事故 救助工作車2台、消防ポンプ自動車2台、救急車4台、他に裾野市消防本部救助工作車1台、救急車1台、長泉町消防本部救急車1台、三島市消防本部救急車1台、沼津市消防本部救急車1台の応援出動により、負傷者13名（要救助者7名）を搬送
- 平成19. 9. 6 台風9号による御殿場市の被害は床上浸水13戸、床下浸水31戸、特に富士岡地区は黄瀬川の氾濫により、甚大なる被害を受ける 被害総額3億4千百万円 総雨量631mm 小山町は鮎沢川の氾濫により、生土地区の護岸の破壊をはじめ、各所で甚大なる被害となる 被害総額3億8千4百万円 総雨量338mm
- 平成20. 6. 11 御殿場市新橋地先の商店街から出火、全焼1棟、部分焼3棟、焼

- 損面積325㎡、損害額6,765万円
- 平成20. 12. 6 金時山乙女側登山道山頂付近で急病人、箱根町消防、御殿場消防が出動、県防災ヘリコプターと連携し、1名を救出
- 平成21. 11. 1 富士スピードウェイ内ドリフトコース駐車場で卓上コンロ爆発事故、6名が負傷。指揮車1台、消防車2台、救助工作車1台、救急車3台、ドクターヘリ3機(東部・西部・東海大)出動
11. 16 須走オートパラダイス付近で観光バスと乗用車の正面衝突事故、9名が負傷 指揮車1台、消防車1台、救助工作車1台、救急車5台出動
- 平成22. 9. 8 小山消防署管内風水害災害、台風9号の影響で野沢川の氾濫により、小山地区下野沢橋が決壊し、藤曲地区の六合橋付近の護岸の破壊及び須川の氾濫により養魚場が破壊された。また柳島地区の町道足柄三保線が決壊するなど各所で甚大なる被害となる
- なお、この災害により小山町の被害は住宅全壊6件、大規模半壊7件、半壊18件、床上浸水14件、その他全壊8件、その他大規模半壊2件、その他半壊6件、その他床上11件、床下浸水94件、その他床下13件土砂崩れ92件、水路被害32件、護岸決壊14件、道路崩落29件、河川被害12件、倒木6件、土嚢要請24件、通行止め21箇所、断水なし、停電なし
- 時間雨量最大 97.0mm 総雨量367.0mm (小山消防署)
- 時間雨量最大127.5mm 総雨量593.5mm (小山消防署須走分署)
- 平成23. 8. 21 東名高速道路上り線65.2KPでワゴン車の単独横転事故が発生し、1名死亡、9名が負傷 指揮車1台、消防車1台、救助工作車1台、救急車5台、隊員23名が出動し負傷者9名を搬送
- 平成23. 9. 21 台風15号(浜松市上陸)の影響で市町内各地において、風水害の被害が発生した。特に御殿場市では、最大瞬間風速45.9m/sを記録し、家屋の一部破損10棟、倒木などの風による被害が目立ち、負傷者も3名発生した 停電(御殿場市8区 小山町3区)
- 時間雨量最大54.5mm 総雨量363mm (御殿場消防署西分署)
- 時間雨量最大63.5mm 総雨量484mm (小山消防署須走分署)
- 平成26. 2. 14 低気圧接近に伴い大雪警報発令10:53 市町内各地において、大雪による被害が発生した。
- 小山町では小山消防署管内の積雪量が61cm 須走分署管内の積雪量は100cmで須走東災害対策センターに現地災害対策本部が設置され、小山町長から県知事へ自衛隊災害要請をする。
- 御殿場市では御殿場消防署管内の積雪量が85cm 富士岡分署管内の積雪量が55cm 西分署管内の積雪量が59cmで御殿場市災害対策本部が設置された。

道路の規制状況

道路名	通行止め区間	開始日時	解除日時
東名高速道路	上り(東京IC~清水IC)	15日02:45	16日22:00
	下り(東京IC~沼津IC)	16日13:30	16日22:00
新東名高速道路	上下(御殿場ICT~長泉沼津IC)	14日09:00	17日17:10
東富士五湖道路	上下(須走IC~富士吉田IC)	14日12:20	20日00:00
国道246号	通行止めなし。ただし片側1車線のみ通行可の時間帯があった。		
国道138号	深沢東~県境(乙女峠、静岡県管理)	15日00:00	20日15:00
	山中湖村平野~小山町須走	15日01:15	18日21:00

公共交通機関の状況

JR御殿場線	17日 始発から通常運行
富士急行バス(路線バス)	22日 上野線(24日再開)を除き 運行再開
タクシー会社	17日 営業再開

- 平成27. 11. 27 JR御殿場駅周辺市街地である御殿場市茱萸沢地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積80㎡、損害額476万円、死者1名
- 平成28. 5. 26 小山町中日向地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積196㎡、損害額381万円、死者1名
- 平成29. 2. 11 御殿場市中丸地先の住宅から出火、全焼1棟、焼損面積164㎡、損害額2,136万円、死者1名

御殿場市・小山町広域行政組合の沿革・組織

組織する地方公共団体 御殿場市及び小山町

沿 革

昭和41年4月1日	御殿場市・小山町厚生施設組合発足 じんかい焼却場、隔離病舎及び火葬場業務の管理運営に関する事務を共同処理開始
昭和46年4月1日	小山町との御殿場市・小山町厚生施設組合を改組し、新たに消防業務を加え御殿場市・小山町広域行政組合を設立
昭和48年7月5日	隔離病舎を廃止
昭和51年4月1日	し尿処理業務を加える (1) 消防に関する事項 (消防団に係るもの並びに水利施設の設置維持及び管理に関するものを除く) (2) 火葬場に関する事項 (3) じんかい焼却場に関する事項 (4) し尿処理に関する事項
平成10年4月1日	じんかい焼却場をごみ処理場に変更

組織の状況

(1) 執行機関

管 理 者	1名	御殿場市・小山町の長の互選による 任期 御殿場市・小山町のその職にある期間
副 管 理 者	2名	御殿場市・小山町の長のうち管理者とならないもの 市町の副市町長のうちから選出 任期 御殿場市・小山町のその職にある期間
会 計 管 理 者	1名	管理者の属する市町の会計管理者
監 査 委 員	2名	議会選出、学識経験者 任期 2年

(2) 議 会

定 数	12名	御殿場市・小山町の議会において市町の議会の議員のうちから選挙する 御殿場市 7名 小山町 5名
定 例 会	毎年2回	3月及び9月

消防本部発足以降歴代市長・管理者・消防長・消防署長

市 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和44年	2月	6日	勝又藤男
昭和44年	2月	7日	～	昭和46年	3月	31日	鈴木勝巳

管 理 者

昭和46年	4月	1日	～	昭和56年	2月	6日	鈴木勝巳(御殿場市長)
昭和56年	2月	7日	～	平成5年	2月	6日	大庭健三(御殿場市長)
平成5年	2月	7日	～	平成13年	2月	6日	内海重忠(御殿場市長)
平成13年	2月	7日	～	平成21年	2月	6日	長田開蔵(御殿場市長)
平成21年	2月	7日	～	現		在	若林洋平(御殿場市長)

消 防 長

昭和40年	4月	1日	～	昭和44年	3月	31日	木村賢(御殿場市助役)
昭和44年	4月	1日	～	昭和52年	3月	31日	子上孝吉(御殿場市助役)
昭和52年	4月	1日	～	昭和52年1	2月	11日	鈴木勝巳(御殿場市長)
昭和52年1	2月	12日	～	昭和57年	3月	31日	江藤泰勝(御殿場市総務部長)
昭和57年	4月	1日	～	昭和58年	3月	31日	後藤尚平(御殿場市総務部長)
昭和58年	4月	1日	～	昭和58年1	2月	31日	関口達夫(消防長事務代理)
昭和59年	1月	1日	～	昭和63年	3月	31日	関口達夫
昭和63年	4月	1日	～	平成4年	3月	31日	田代哲朗
平成4年	4月	1日	～	平成7年	3月	31日	羽田督
平成7年	4月	1日	～	平成10年	3月	31日	勝間田喜代弘
平成10年	4月	1日	～	平成12年	3月	31日	長田勇
平成12年	4月	1日	～	平成15年	3月	31日	長田洋一
平成15年	4月	1日	～	平成18年	3月	31日	勝間田嘉雄
平成18年	4月	1日	～	平成19年	3月	31日	平野昭弘
平成19年	4月	1日	～	平成23年	3月	31日	鈴木平作
平成23年	4月	1日	～	平成26年	3月	31日	長田利一
平成26年	4月	1日	～	平成28年	3月	31日	渡邊秀晃
平成28年	4月	1日	～	平成30年	3月	31日	田代佳丸
平成30年	4月	1日	～	現		在	村松秀樹

消防署長

昭和40年	4月	1日	～	昭和45年	3月	31日	鳥居恭男
昭和45年	4月	1日	～	昭和52年	3月	31日	勝亦豊
昭和52年	4月	1日	～	昭和56年1	2月	31日	芹沢勇一
昭和57年	1月	1日	～	昭和59年	3月	31日	田代哲朗
昭和59年	4月	1日	～	昭和61年	3月	31日	勝亦延夫
昭和61年	4月	1日	～	平成1年	3月	31日	鈴木幸助
平成1年	4月	1日	～	平成3年	3月	31日	三井一郎
平成3年	4月	1日	～	平成6年	3月	31日	増田眞助
平成6年	4月	1日	～	平成7年	3月	31日	長田勇
平成7年	4月	1日	～	平成10年	3月	31日	長井傳嘉
平成10年	4月	1日	～	平成12年	3月	31日	鈴木喜久

平成12年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日 勝又昭雄

御殿場消防署長

平成14年 4月 1日 ~ 平成17年 3月31日 齊藤伊三男
平成17年 4月 1日 ~ 平成18年 3月31日 平田敏雄
平成18年 4月 1日 ~ 平成19年 3月31日 芹澤民雄
平成19年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日 勝又敏美
平成23年 4月 1日 ~ 平成24年 3月31日 芹沢裕司
平成24年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日 田邊修
平成26年 4月 1日 ~ 平成27年 3月31日 梶本雅彦
平成27年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日 田代公一
平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日 村上武
平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日 勝間田淳欣
平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日 岩田誠
平成31年 4月 1日 ~ 現 在 谷中修

小山消防署長

平成14年 4月 1日 ~ 平成15年 3月31日 勝間田嘉雄
平成15年 4月 1日 ~ 平成17年 3月31日 平田敏雄
平成17年 4月 1日 ~ 平成18年 3月31日 山口富雄
平成18年 4月 1日 ~ 平成19年 3月31日 勝又敏美
平成19年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日 込山久美
平成22年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日 長田利一
平成23年 4月 1日 ~ 平成24年 3月31日 田邊修
平成24年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日 芹澤栄
平成26年 4月 1日 ~ 平成27年 3月31日 勝間田健一郎
平成27年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日 山本孝信
平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日 佐藤清
平成30年 4月 1日 ~ 現 在 込山眞治

御殿場市・小山町歴代消防団長

御 殿 場 市

(昭和30年以降)

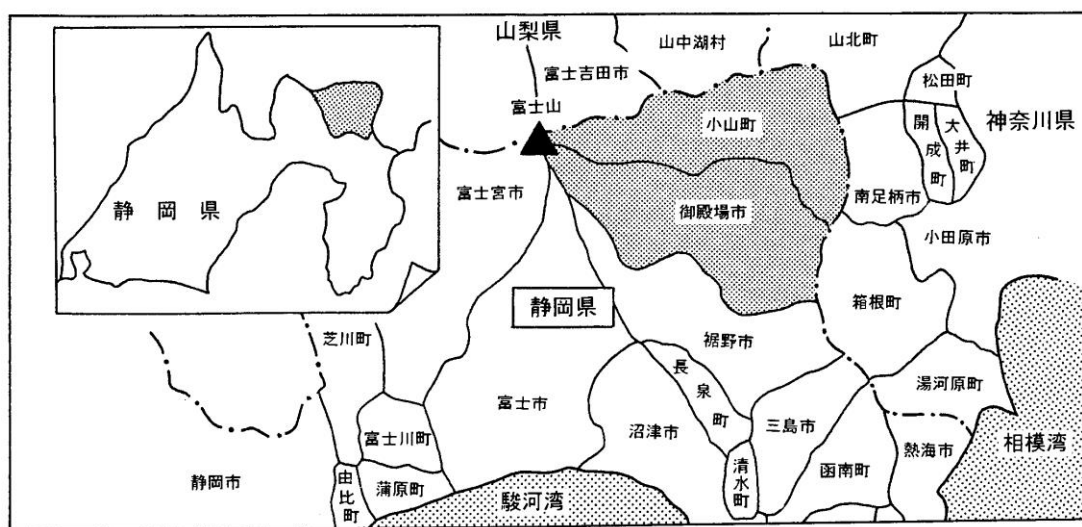
昭和30年	2月11日	～	昭和40年	3月31日	江 藤 栄
昭和40年	4月1日	～	昭和53年	3月31日	今 坂 勝 利
昭和53年	4月1日	～	昭和60年	3月31日	勝 亦 茂 樹
昭和60年	4月1日	～	平成1年	3月31日	土 屋 勝
平成1年	4月1日	～	平成5年	3月31日	野 木 国 員
平成5年	4月1日	～	平成7年	3月31日	徳 坂 昭 夫
平成7年	4月1日	～	平成13年	3月31日	長 田 良 一
平成13年	4月1日	～	平成17年	3月31日	勝 俣 清 一
平成17年	4月1日	～	平成21年	3月31日	高 田 知
平成21年	4月1日	～	平成25年	3月31日	勝 間 田 千 弘
平成25年	4月1日	～	平成29年	3月31日	勝 亦 修 治
平成29年	4月1日	～	現	在	大 胡 田 明 寿

小 山 町

(昭和31年10月以降)

昭和31年	10月1日	～	昭和36年	3月31日	山 崎 賢 三
昭和36年	4月1日	～	昭和42年	3月31日	清 水 亥 之 助
昭和42年	4月1日	～	昭和47年	3月31日	安 田 鏝 一
昭和47年	4月1日	～	昭和55年	3月31日	中 川 保
昭和55年	4月1日	～	昭和57年	3月31日	音 渕 佐 一
昭和57年	4月1日	～	昭和59年	3月31日	湯 山 保
昭和59年	4月1日	～	昭和63年	3月31日	鈴 木 敏 一
昭和63年	4月1日	～	平成3年	3月31日	秋 田 信 嘉
平成3年	4月1日	～	平成7年	3月31日	勝 俣 昭 坦
平成7年	4月1日	～	平成10年	3月31日	米 山 靖 堅
平成10年	4月1日	～	平成13年	3月31日	杉 山 公 一
平成13年	4月1日	～	平成17年	3月31日	山 田 通 之 行
平成17年	4月1日	～	平成21年	3月31日	田 代 政 敏
平成21年	4月1日	～	平成25年	3月31日	横 山 正 敏
平成25年	4月1日	～	平成29年	3月31日	小 野 弘 幸
平成29年	4月1日	～	平成31年	3月31日	山 橋 恒 久
平成31年	4月1日	～	現	在	米 山 恒 久

御殿場市・小山町の位置・地勢



平成31年4月1日現在

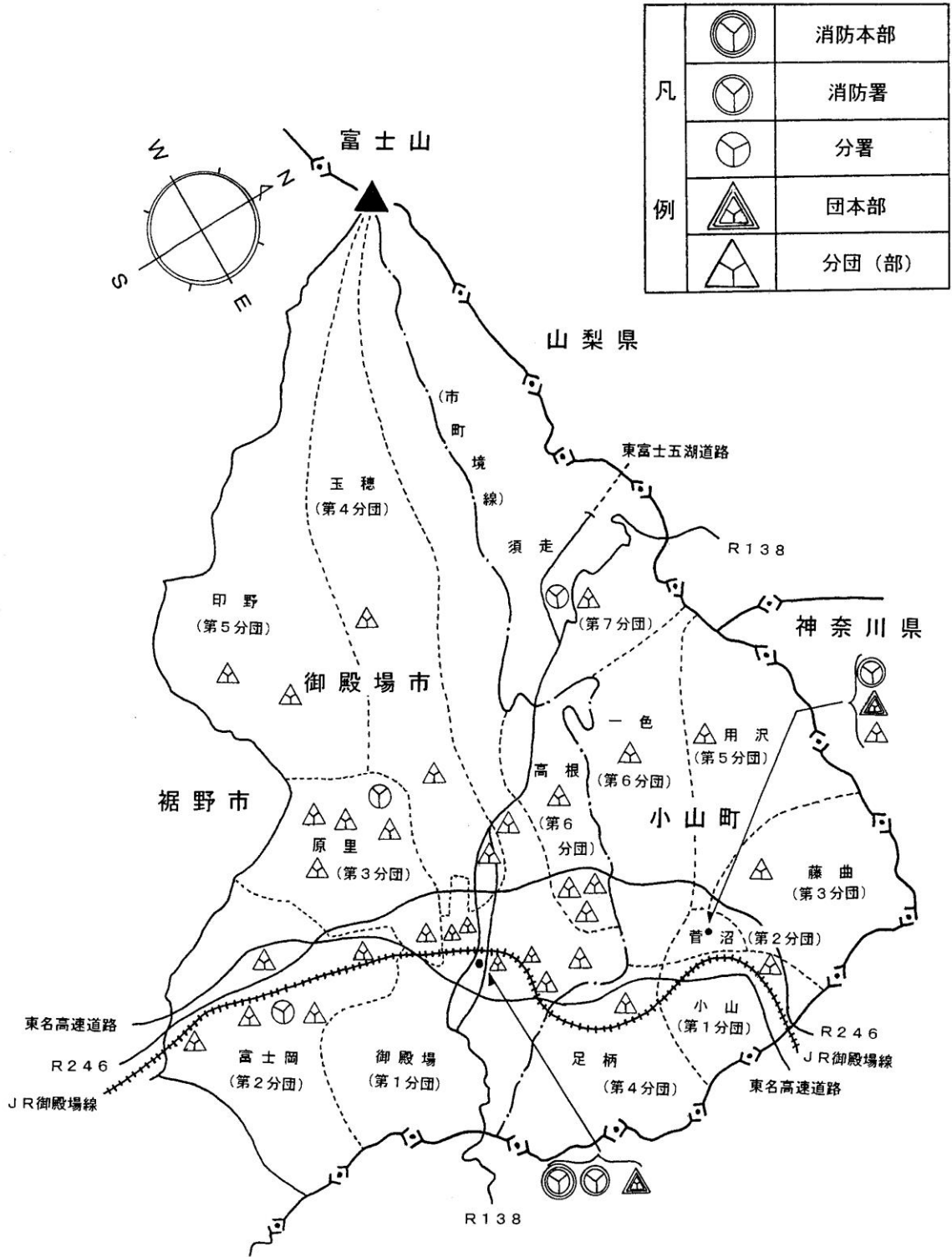
区分	全体	御殿場市	小山町
人口	106,729 人	88,257 人	18,472 人
世帯	44,485 世帯	37,013 世帯	7,472 世帯
面積	330.64 Km ²	194.90 Km ²	135.74 Km ²
東経		御殿場市役所の位置 138° 56' 06"	小山町役場の位置 138° 59'
北緯		35° 18' 31"	35° 21'
海拔		459.8 m	267 m
広ぼう		東西24 km ・ 南北16 km	東西26 km ・ 南北13 km

消防庁舎の現況

平成31年4月1日現在

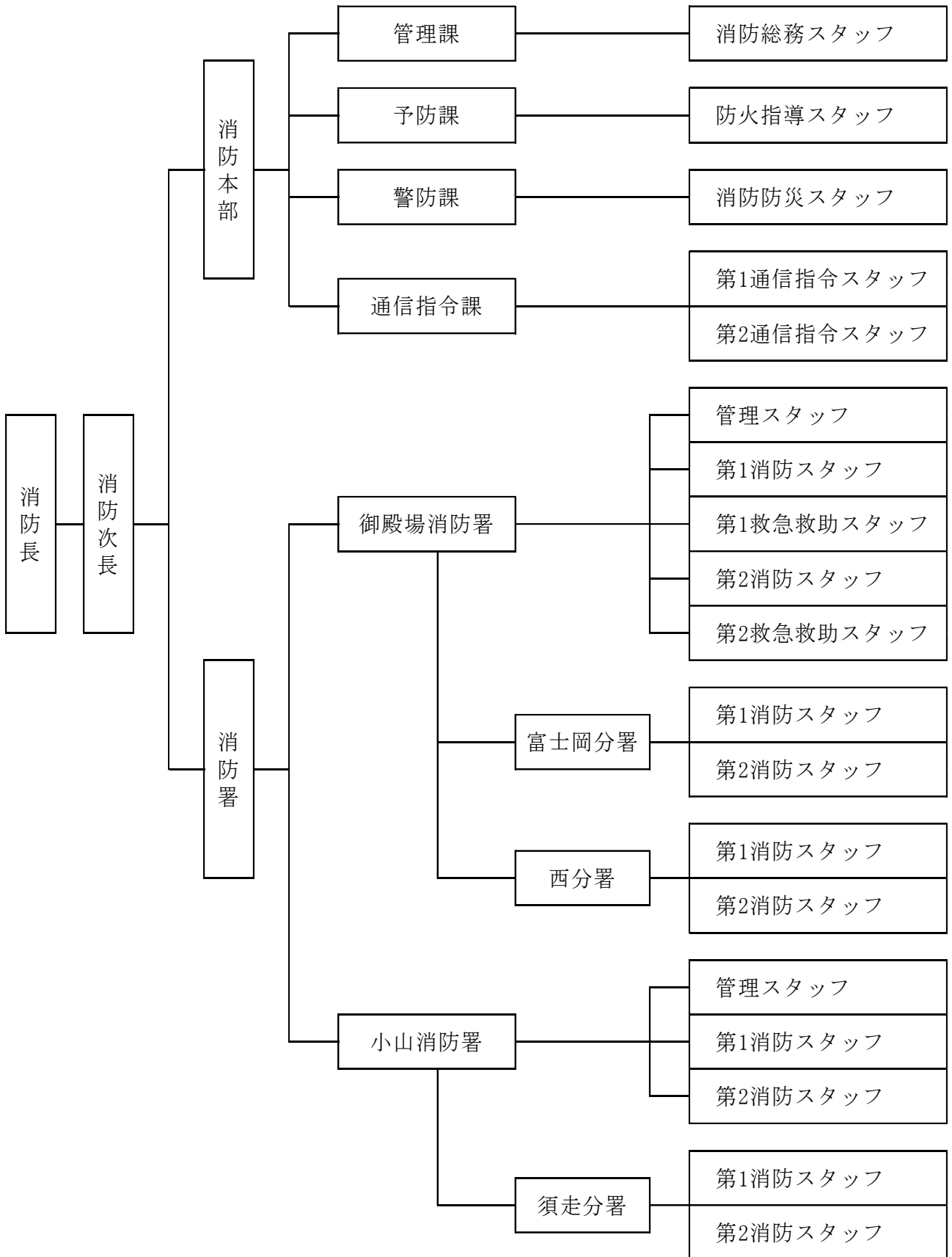
名称 区分	消防本部・御殿場消防署 御殿場市消防団本部	御殿場消防署 富士岡分署	御殿場消防署 西分署	小山消防署 小山町消防団本部	小山消防署 須走分署
所在地	御殿場市東田中一丁目19-1	御殿場市中山473-1	御殿場市永塚916	小山町菅沼359-2	小山町須走293-1
竣工	平成6年3月17日	昭和51年9月25日	平成10年3月14日	昭和47年3月20日	昭和55年10月20日
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造3階建	鉄骨造平屋建	鉄骨造平屋建	鉄筋コンクリート造 2階建	鉄骨造平屋建
1階	1,661.03m ²	194.02m ²	409.78m ²	382.10m ²	207.70m ²
2階	852.12m ²	-	-	277.20m ²	-
3階	601.71m ²	-	-	-	-
PH	28.05m ²	-	-	-	-
延面積	3,142.91m ²	194.02m ²	409.78m ²	659.30m ²	207.70m ²
建築面積	1,948.22m ²	208.55m ²	409.78m ²	382.10m ²	225.02m ²
訓練塔	鉄筋コンクリート造4階建 延面積 202.8m ²	-	-	鉄骨造3階建 延面積 166.8m ²	-
敷地面積	7002.01m ²	715.25m ²	2,000.21m ²	1,200.00m ²	709.38m ²
工事費	1,576,000千円	23,415千円	148,000千円	56,623千円	27,420千円
増築等	H22.3 高機能消防指令システム 257,040千円 H27.12 消防救急デジタル無線システム 345,600千円	H10.11 耐震補強・増築 16.71m ² 8,249千円		H9.2 増築 259.18m ² 33,236千円 H13.12 耐震補強改修 17,788千円 H18.3 訓練塔建設 30,461千円	H11.12 耐震補強・増築 17.57m ² 7,390千円

管内消防機関配置図



消防本部・消防署組織機構図

平成 31 年 4 月 1 日現在



分 掌 事 務

平成31年4月1日現在

管 理 課

- (1) 組織及び企画に関すること。
- (2) 儀式及び表彰に関すること。
- (3) 条例、規則等の制定改廃に関すること。
- (4) 公印の保管に関すること。
- (5) 文書管理に関すること。
- (6) 職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
- (7) 職員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関すること。
- (8) 職員の研修に関すること。
- (9) 職員の保健衛生及び安全管理に関すること。
- (10) 職員の被服等貸与品の支給に関すること。
- (11) 消防職員委員会に関すること。
- (12) 予算に関すること。
- (13) 備品台帳に関すること。
- (14) 庁舎等の維持管理に関すること。
- (15) 他の課等との連絡に関すること。
- (16) 関係機関との連絡調整に関すること。
- (17) 消防統計に関すること。
- (18) 他の課の所管に属さない事項に関すること。

予 防 課

- (1) 火災予防の対策、普及、指導及び査察に関すること。
- (2) 火災の原因及び損害の調査並びに災証明に関すること。
- (3) 消防用設備の検査及び指導に関すること。
- (4) 防火管理者に関すること。
- (5) 建築許可等の同意事務に関すること。
- (6) 危険物の規制に関すること。
- (7) 県証紙の売りさばきに関すること。
- (8) 高圧ガス及び液化石油ガスの規制に関すること。
- (9) 火薬類の規制に関すること。
- (10) 予防統計に関すること。
- (11) 防火協力団体に関すること。
- (12) 広報に関すること。
- (13) 消防クラブの育成及び指導に関すること。
- (14) その他予防業務に関すること。

警 防 課

- (1) 消防計画に関する事。
- (2) 消防の地理及び水利に関する事。
- (3) 水火災及び地震等の警戒防ぎよに関する事。
- (4) 消防、救急及び救助技術の研究並びに訓練指導に関する事。
- (5) 消防機械器具の整備及び取り扱いに関する事。
- (6) 消防相互応援に関する事。
- (7) 救急医療機関との連絡調整に関する事。
- (8) 消防団に関する事。
- (9) 自主防災組織の消防指導に関する事。
- (10) 救助隊、水難救助隊及び消防音楽隊に関する事。
- (11) 救急及び救助の計画並びに統計に関する事。
- (12) その他警防業務に関する事。

通信指令課

- (1) 消防通信に関する事。
- (2) 通信施設等の整備、保守及び管理に関する事。
- (3) 警報及び情報連絡に関する事。
- (4) 気象観測及び気象情報に関する事。
- (5) その他通信指令業務に関する事。

消 防 署

- (1) 水火災及び地震等の警戒防ぎよに関する事。
- (2) 救急及び救助に関する事。
- (3) 危険区域等の警防計画に関する事。
- (4) 消防機械器具の整備、運用及び保管に関する事。
- (5) 火災予防の指導及び査察の実施に関する事。
- (6) 消防対象物の調査並びに立入検査に関する事。
- (7) 消防署関係届出等の処理に関する事。
- (8) 煙火の消費に係る届出の受理及び許可に関する事務並びに立入検査に関する事。
- (9) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (10) 消防の地理及び水利に関する事。
- (11) 消防の教育及び訓練に関する事。
- (12) 救助隊、水難救助隊及び消防音楽隊の訓練に関する事。
- (13) 消防団及び自主防災組織との連携共助に関する事。
- (14) 消防統計に関する事。
- (15) 消防署員の服務及び教養に関する事。
- (16) その他消防署に関する事。

消防本部・消防署別職員配置状況

平成31年4月1日現在

	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
職員条例定数	160								
職員合計	150	1	7	21	46	22	23	30	0
消防本部	消防長	1	1						
	次長(兼務)	(1)		1					
	管理課	8		1	1	1	1		4
	予防課	9		1	1	3	3	1	
	警防課	5		1	1	1	2		
	通信指令課	11		1	2	6		1	1
	小計	34	1	4	5	11	6	2	5
御殿場消防署	御殿場消防署	47		2	6	15	4	8	12
	富士岡分署	14			2	5	2	2	3
	西分署	14			2	5	3	2	2
	小山消防署	27		1	4	6	4	7	5
	須走分署	14			2	4	3	2	3
	小計	116	0	3	16	35	16	21	25

()は兼務

※定数外の職員 御殿場市派遣 消防士長 1人 広域行政組合事務局派遣 消防士長 1人
五輪組織委派遣 消防司令補 1人 消防学校派遣 消防司令補 1人

※定数内の職員 御殿場市から消防士長 1人

職員年齢状況

平成31年4月1日現在

階級 年齢	比率 %	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
平均年齢		42.1	59.0	56.4	51.7	42.8	34.2	28.1	22.4	
合計	100.0	150	1	7	21	46	22	23	30	0
20歳未満	0.7	1							1	
20歳～24歳	13.3	20							20	
25歳～29歳	16.0	24						15	9	
30歳～34歳	10.7	16					8	8		
35歳～39歳	12.0	18				4	14			
40歳～44歳	17.3	26				26				
45歳～49歳	14.7	22			6	16				
50歳～54歳	5.3	8			8					
55歳以上	10.0	15	1	7	7					

※定数外の職員 御殿場市派遣 消防士長 1人 広域行政組合事務局派遣 消防士長 1人
五輪組織委派遣 消防司令補 1人 消防学校派遣 消防司令補 1人

※定数内の職員 御殿場市から派遣 消防士長 1人

職員勤続年数状況

平成31年4月1日現在

階級 年数	構成 比	合計	消	消	消	消	消	消	消	その 他の 職員
			防	防	防	防	防	防		
			防	司	司	司	士	副	士	
			監	令	令	令	長	士	長	
平均勤続年数			39.0	35.8	30.2	22.3	12.8	7.3	3.2	
合計	100	150	1	7	21	46	22	23	30	0
5年未満	18.7	28						4	24	
5年以上～10年未満	14.7	22					3	13	6	
10年以上～15年未満	13.3	20					14	6		
15年以上～20年未満	12	18				13	5			
20年以上～25年未満	13.3	20			2	18				
25年以上～30年未満	12.7	19			4	15				
30年以上	15.3	23	1	7	15					

※定数外の職員 御殿場市派遣 消防士長 1人 広域行政組合事務局派遣 消防士長 1人

五輪組織委派遣 消防司令補 1人 消防学校派遣 消防司令補 1人

※定数内の職員 御殿場市から派遣 消防士長 1人

職員任用状況

平成31年4月1日現在

年度 区分	平	平	平	平	平	平	平	平	平	平
	成	成	成	成	成	成	成	成	成	成
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度
職員定数	155	155	155	155	155	155	155	160	160	160
職員数	152	151	153	155	151	151	153	152	150	150
採用者数	5	4	4	5	5	6	6	6	8	4
退職者数	5	2	3	10	5	5	7	9	2	
再任用者							1	1		
御殿場市へ出向	1	1	1	2	1	2	2	1	1	1
広域行政組合事務局へ出向								1	1	1
御殿場市から出向	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
五輪組織委委員会へ派遣										1
静岡県防災ヘリ(航空隊)へ出向	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—
消防学校への教官出向	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1

平成31年度常備消防費当初予算

歳入

(単位：千円)

款	令和元年度	平成30年度	比較	説明
分担金及び負担金	1,054,988	1,006,789	48,199	御殿場市
	275,838	263,845	11,993	小山町
使用料及び手数料	4,321	3,738	583	危険物手数料等
国庫支出金	12,043	15,258	△ 3,215	
県支出金	6,673	3,332	3,341	県補助金
財産収入			0	
諸収入	7,349	7,451	△ 102	東名救急業務支弁金
	6,824	446	6,378	その他
組合債	47,700	20,600	27,100	
合計	1,415,736	1,321,459	94,277	

歳出

(単位：千円)

目	節	令和元年度	平成30年度	比較
常備消防費	報酬	256	263	△ 7
	給料	563,268	552,366	10,902
	職員手当等	418,780	408,222	10,558
	共済費	198,880	192,261	6,619
	災害補償費	1	1	0
	賃金	1089	1089	0
	報償費	26	26	0
	旅費	3,241	2,835	406
	交際費			0
	需用費	73,302	55,739	17,563
	役務費	16,859	15,702	1,157
	委託料	31,585	21,168	10,417
	使用料及び賃借料	11,662	10,464	1,198
	工事請負費			0
	原材料費	70	70	0
	備品購入費	83,703	46,786	36,917
	負担金補助及び交付金	12,577	13,107	△ 530
	公課費	437	1,360	△ 923
	合計	1,415,736	1,321,459	94,277

相互応援協定等の締結状況

県内協定

協定名	締結日	内容	協定締結先
ガス漏洩爆発事故対策に関する申合せ	昭和55年12月1日	ガス漏洩爆発事故等を対象	御殿場警察署 東京電力御殿場営業センター 御殿場瓦斯株式会社 静岡県プロパンガス協会東部支部 御殿場地区会御殿場小山各ブロック会
消防相互援助協約	(昭和62年2月19日) 全部改定 平成24年4月24日	すべての災害	キャンプ富士消防署
静岡県消防相互応援協定	(昭和62年3月2日) 全部改定 平成29年3月10日	すべての災害	県下各市町長及び消防組合管理者
東名高速道路内の御殿場・裾野・沼津インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	昭和63年3月29日	消防及び救急業務の実施並びに処理を対象	裾野市長 長泉町長 沼津市長
フジ虎ノ門整形外科病院医師派遣用緊急自動車に関わる相互応援協定	平成20年9月1日	医師派遣用緊急自動車の運用を対象	フジ虎ノ門整形外科病院
新東名高速道路内の御殿場ジャンクション・長泉沼津インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	平成24年4月14日	消防及び救急業務の実施並びに処理を対象	御殿場市長 長泉町 裾野市
静岡県防災ヘリコプター応援協定	平成29年3月29日	すべての災害	県下各市町長及び消防組合管理者

県外協定

協定名	締結日	内容	協定締結先
非常出入口の使用に関する協定	昭和45年4月24日	東名高速道路に設置した非常出入口の使用	中日本高速道路(株) 高速道路東京管理局
消防相互応援協定	平成28年6月1日	すべての災害	箱根町長
東名高速道路都夫良野トンネルにおける無線通信補助設備の便宜供与に伴う協定	昭和59年3月8日	消防業務に関して都夫良野トンネル内の無線通信補助設備の使用を対象	中日本高速道路(株)東京第一管理局長 関東管区警察局神奈川県通信部長 神奈川県足柄消防組合消防長
非常出入口の使用に関する協定	昭和62年3月11日	東名高速道路に設置した非常出入口の使用	中日本高速道路(株)東京第一管理局長
富士五湖広域行政事務組合及び御殿場市・小山町広域行政組合消防相互応援協定	平成28年8月19日	消防業務の実施並びに処理を対象	富士五湖広域行政事務組合消防長
東名高速道路都夫良野トンネル他における無線通信設備等の便宜供与に関する協定	平成7年8月1日	消防業務に関して都夫良野トンネル他における無線通信設備等の使用を対象	中日本高速道路(株)東京第一管理局長
消防相互応援協定	平成25年3月31日	すべての災害	小田原市長

その他

協定名	締結日	内容	協定締結先
大規模災害に際しての消防及び自衛隊の相互協力に関する協定	平成8年1月17日	大規模災害	消防庁次長 防衛庁防衛局長
携帯電話等から消防機関への119番通報の接続に関する覚書	平成20年6月17日	緊急通報	株式会社エヌ・ティ・ティ ドコモ東海 ソフトバンク モバイル KDDI株式会社 イーモバイル株式会社
大規模災害等発生時における緊急消防援助隊等の駐車場使用に関する協定	平成26年6月5日	大規模災害時場外駐車場使用	御殿場プレミアムアウトレット

消防団協定

協定名	締結日	内容	協定締結先
御殿場市・小山町間の消防団火災出動相互応援に関する協定	昭和53年11月1日	火災 (境界における火災出動)	御殿場市長 御殿場市消防団長 小山町長 小山町消防団長
御殿場市・裾野市間の消防団火災出動相互応援に関する協定	昭和53年11月1日	火災 (境界における火災出動)	御殿場市長 御殿場市消防団長 裾野市長 裾野市消防団長

兼 任 隊

平成31年4月1日

特別救助隊・救助隊・山岳救助隊

消防救助隊は、隊長以下30名が隊員として任命され、各種災害事象の特異性・危険性の中にあって、資機材等の装備品をより効果的に駆使し、要救助者を「安全」「確実」「迅速」に救出するため、救助技術の練磨に励んでいる。

[主な訓練]

平成30年度

月	内 容	月	内 容
4月	基本訓練・安全管理教育 山岳救助訓練(湯船山・三国山)	10月	航空隊合同訓練(長尾山山頂) 交通救助訓練
5月	基本訓練・体力強化訓練 山岳救助訓練(二子山系)	11月	高所救助訓練
6月	火災救助訓練 富士山山岳救助訓練(須走口・富士宮口)	12月	NBC災害対応訓練(警察・FSW合同) 野外想定訓練(低所救助)
7月	富士山山岳救助訓練(須走口) 航空隊合同訓練(富士山須走口) 中州救助訓練(小山町足柄ふれあい公園)	1月	宙吊り救助訓練 救助隊体力測定
8月	NBC災害対応訓練(小山球場)	2月	震災対策救助訓練(CSR・ブリーテング) 基本訓練・体力強化訓練
9月	多数傷病者対応訓練(MCLS) 山岳救助訓練(金時山)	3月	訓練塔整備 基本訓練・体力強化訓練

防火対象物現況数

平成30年度

用途別		市 町 別	合 計	御 殿 場 市	小 山 町
合 計			3,966	3,233	733
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	9	5	4
	ロ	公会堂又は集会場	25	17	8
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	0		
	ロ	遊技場又はダンスホール	18	17	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	0		
	ニ	カラオケボックス等	3	2	1
3項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	1	
	ロ	飲食店	151	136	15
4項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗等	278	254	24
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	191	142	49
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	987	894	93
6項	イ	病院、診療所又は助産所	80	71	9
	ロ	老人短期入所施設等	57	50	7
	ハ	老人デイサービスセンター等	61	53	8
	ニ	幼稚園・特別支援学校	14	11	3
7項		小中高等学校、高等専門学校、大学・専修学校等	133	100	33
8項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	5	4	1
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場等	1	1	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	8	6	2
10項		車両の停車場又は船舶もしくは航空機の発着場	4	2	2
11項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	43	30	13
12項	イ	工場又は作業場	645	495	150
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	0		
13項	イ	自動車車庫又は駐車場	42	28	14
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	2	2	
14項		倉庫	257	185	72
15項		前各項に該当しない事業場	632	447	185
16項	イ	特定用途別部分が存する複合用途防火対象物	251	223	28
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外のもの	65	55	10
16項の2		地下街	0		
16項の3		建築物の地階で連続して地下道に面したものと等	0		
17項		文化財保護法による重要文化財等	3	2	1
18項		延長50メートル以上のアーケード	0		
19項		市町村長の指定する山林	0		
20項		自治省令で定める舟車	0		

用途構造別建築同意件数

平成30年度

用途別	市 町 別		御 殿 場 市					小 山 町						
	構造別（棟別）		木 造	鉄 骨	鉄 筋 コ ン ト	そ の 他	同意件数計		木 造	鉄 骨	鉄 筋 コ ン ト	そ の 他	同意件数計	
							30 年 度	29 年 度					30 年 度	29 年 度
合 計			52	102	8	0	162	151	7	20	2	0	29	43
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場					0	1					0	
	ロ	公会堂又は集会場					0						0	
2項	イ	キャハレー、カフェー、ナイトクラブ等					0						0	
	ロ	遊技場又はダンスホール					0						0	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗					0						0	
	ニ	カラオケボックス等					0						0	
3項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの					0						0	
	ロ	飲食店	3				3	3					0	1
4項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗等		13			13	8					0	1
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	2	2	2		6	2		1	2		3	3
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1	9	2		12	10					0	1
6項	イ	病院、診療所又は助産所	1				1	2					0	
	ロ	老人短期入所施設等	1	2			3						0	
	ハ	老人デイサービスセンター等	5				5	4					0	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校					0	1					0	
7項		小中高等学校、高等専門学校、大学・専修学校等	1	1	2		4	2					0	
8項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの					0						0	
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場等					0						0	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					0						0	
10項		車両の停車場又は船舶もしくは航空機の発着場					0	1					0	
11項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの					0	2					0	
12項	イ	工場又は作業場		10			10	12		1			1	9
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ					0						0	
13項	イ	自動車車庫又は駐車場		4			4	4	1	1			2	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					0						0	
14項		倉庫	2	10			12	12		3			3	4
15項		前各項に該当しない事業場	6	28			34	22	2	10			12	11
16項	イ	特定用途別部分が存する複合用途防火対象物		4	2		6	2					0	2
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外のもの					0	3					0	
小 計			22	83	8	0	113	91	3	16	2	0	21	34
専 用 住 宅			18	15			33	32	4	4			8	3
そ の 他			12	4			16	25					0	4
小 計			30	19	0	0	49	57	4	4	0	0	8	7
計 画 通 知			1				1	3			1	1		2
小 計			1	0	0	0	1	3	0	0	1	1	0	2

16項の2・18項～20は該当なし

実施状況用途別	対象数	実施数	実施率%
合計	176	164	93
百貨店・マーケット等（4項）	86	82	95
事務所等・その他の事業所（15項）	90	82	91

住宅用火災警報器を設置しましょう。

全ての住宅に、平成21年6月1日（御殿場市・小山町広域行政組合火災予防条例）から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。



管内 5階以上の建築物一覧

御殿場市（御殿場市内：113棟）

5階（70棟）

平成30年度

名 称	用途	名 称	用途
御殿場市市民会館	公会堂	御殿場レックスハイツ	共同住宅
御殿場美華ガーデン	飲食店	コーポラス新橋	〃
御殿場高原ホテル（時の栖）	ホテル	東山ガーデンハウス	〃
ホテルセレクトイン富士山御殿場	〃	アイクレスト御殿場1	〃
ゆうらいふ御殿場	〃	アイクレスト御殿場2	〃
ホテル ルミエール御殿場	〃	ロイヤルシャトー御殿場南	〃
御殿場高原ホテル（時の栖別館）	〃	ベルメゾンごてんば	〃
ホテル昴	〃	クインテッセンス御殿場	〃
滝ヶ原宿舎（A）	宿舎	コーポラス板妻	〃
滝ヶ原宿舎（B）	〃	ラプレジール御殿場二の岡	〃
萩原宿舎 1号棟	〃	コンフォート向原	〃
萩原宿舎 2号棟	〃	陸上自衛隊板妻駐屯地隊舎（6号隊舎）	〃
滝宿舎 1号棟	〃	陸上自衛隊板妻駐屯地隊舎（10号隊舎）	〃
滝宿舎 2号棟	〃	陸上自衛隊板妻駐屯地隊舎（34号隊舎）	〃
滝宿舎 3号棟	〃	M-BS御殿場老番館	〃
雇用促進住宅御殿場宿舎 1号棟	〃	滝ヶ原ぐみ沢宿舎	〃
雇用促進住宅御殿場宿舎 2号棟	〃	富士病院	病院
杉原宿舎 1号棟	〃	県立御殿場高等学校	学校
杉原宿舎 2号棟	〃	ニット・アジア・パッシック御殿場配送センター	工場
エトワール御殿場	共同住宅	キルディステイラー御殿場工場	〃
サンコーポ第2新橋	〃	小林工芸	〃
グリーンタウンぐみ沢	〃	㈱ソカサ御殿場物流センター	倉庫
コーポラス野中	〃	滝ヶ原駐屯地（格納庫）	〃
コーポカツマタ	〃	タウン社	事務所
箱根東山館	〃	御殿場市役所	〃
ソシオ御殿場	〃	滝ヶ原駐屯地543隊舎	〃
エアアイ・ナテクノロジー-㈱家族寮	〃	マースエンジニアリングテクノ物流センター	〃
ヴィラ御殿場	〃	東芝機械株式会社御殿場テクニカルセンター	〃
ファミリーヴィラ御殿場	〃	滝口ビル	複合用途
メゾン・グッチ	〃	さんどーるビル	〃
レスパニャよしの A棟	〃	シティープラザB-1ビル	〃
レスパニャよしの B棟	〃	メゾン東富士	〃
シャンドン御殿場	〃	興産ビル	〃
アビターレ	〃	みやざきやビル	〃
グランピュア・カミヤ	〃	レジデンス杉山	〃

6階（17棟）

名 称	用途	名 称	用途
TOTO㈱東富士研修所	ホテル	ウイステリア御殿場参番館	共同住宅
LaLaGOTENBAホテル&リゾート	〃	アーバンシティー御殿場	〃
ウイステリア御殿場	共同住宅	トゥール御殿場	〃
モナーク御殿場	〃	ヴィラS&T	〃
フォーシーズン大坂	〃	バルクレール御殿場	〃
サンコーポ第3新橋	〃	ウイステリアコート川島田	〃
富士ランドフジビューマンション	〃	大和田ビル	複合用途
御殿場ヒルズ	〃	御殿場ミュージアムタワー	〃
リシャール御殿場	〃		

御殿場市

7階 (11棟)

名称	用途	名称	用途
ウイステリア御殿場式番館	共同住宅	オサコー建設 社屋	〃
シャレーフジハイランド	〃	くれたけイン御殿場インターホテル	ホテル
ウイステリア御殿場アクシス	〃	ホテルルートイン御殿場	〃
Breeze GOTENBA	〃	スーパーホテル御殿場1号館	〃
トヨタ自動車東富士研究所 (C11棟)	事務所	湯山ビル	複合用途
トヨタ自動車東富士研究所 (C12棟)	〃		

8階 (3棟)

名称	用途	名称	用途
ルートイン御殿場別館	ホテル	中外製薬(株)御殿場社員寮	共同住宅
スーパーホテル御殿場II号館	〃		

9階 (8棟)

名称	用途	名称	用途
御殿場高原ホテルB, U	ホテル	エンブル・ガーデン御殿場	共同住宅
ホテルα1御殿場インター	〃	Y-TOWN御殿場 社宅棟	〃
ルートイン御殿場駅南	〃	Y-TOWN御殿場 寮・厚生棟	〃
リベルテ御殿場	共同住宅	シティープラザC-1ビル	複合用途

11階 (1棟)

名称	用途
オプリージュ御殿場レジデンス	共同住宅

12階 (2棟)

名称	用途	名称	用途
ウイステリア御殿場東	共同住宅	マースガーデンウッド御殿場	ホテル

14階 (1棟)

名称	用途
タワーコート御殿場	共同住宅

小山町 (小山町内 : 30棟)

5階 (21棟)

名称	用途	名称	用途
ゼネラル石油(株)富士高原研修所	研修所	富士(10)下原宿舎(1号棟)	共同住宅
須走宿舎14号棟	共同住宅	富士(10)下原宿舎(2号棟)	〃
県営住宅小山第1団地	〃	富士(10)下原宿舎(3号棟)	〃
柳沢宿舎 A棟	〃	高原コンドC棟	〃
柳沢宿舎 B棟	〃	サンハイツ須走	〃
須走宿舎12号棟	〃	高原コンドB棟	〃
須走宿舎13号棟	〃	陸上自衛隊富士学校隊舎14号棟隊舎	隊舎
須走宿舎14号棟	〃	陸上自衛隊富士学校隊舎	〃
須走宿舎K号棟	〃	陸上自衛隊富士学校隊舎	〃
富士特別借受宿舎	〃	御殿場・小山RDFセンター	工場
		富士学校 隊舎(321)	複合用途

6階 (3棟)

名称	用途	名称	用途
アイリスオーヤマ富士小山工場	工場	陸上自衛隊富士学校313号隊舎	隊舎
東海カーボン富士研究所	研究所		

7階 (1棟)

名称	用途
ホテルジャストワン富士小山	ホテル

8階 (2棟)

名称	用途	名称	用途
ダイヤモンドリゾート御殿場式番館	共同住宅	(株)東海 (3工場)	工場

9階 (1棟)

名称	用途	名称	用途
富士之堡華園ホテル	ホテル	富士ざくらホテル	ホテル

10階 (1棟)

名称	用途
ダイヤモンドリゾート御殿場式番館	共同住宅

消防用設備等設置状況

平成30年度

市町別	市									山 町									
	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ン プ	自 動 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 織	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ン プ	自 動 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 織	
合計	337	77	90	118	15	1,325	521	328	1,225	96	17	42	45	5	366	113	56	278	
1項	イ	1	1			2	2	1	2	1			1		3	3	1	3	
	ロ	6	1			11	13	1	15						6	4		6	
2項	イ																		
	ロ	4	1	2		17	11	3	20						1	1		1	
	ハ ニ					3		1	3						1			1	
3項	イ					1			1										
	ロ	4				56	49	12	123	2	1	1			10	5		14	
4項		14	7	10	21	1	121	87	8	211					5	7		18	
5項	イ	27	4	4	8	2	137	30	33	84	15	3	4	3	52	19	15	42	
	ロ	22	2	10	5		144	69	143	34	11		1		30	11	25	16	
6項	イ	9	6		1		41	25	9	57	3				6	4	2	7	
	ロ		28				48	18	8	45		7			7	2	2	7	
	ハ	1	10				26	12	8	36		2			3	1	2	7	
	ニ	4					11	6	1	13	1				4			3	
7項		61		1		84	42	15	31	13				26	9	1	6		
8項		3				5	2		4										
9項	イ																		
	ロ	1				3	2		3	1					2			2	
10項																			
11項		1				3	15		6	1					2	4		6	
12項	イ	83	6	32	52	8	247	4	4	154	21	3	20	29	3	94	5	3	54
	ロ																		
13項	イ	1		17			17	2		4			4		4			1	
	ロ	1					2												
14項		34	5	3	24	4	110	2	3	62	7	1	6	9	2	37		3	14
15項		43		7	5		130	90	17	147	14		6	2		53	31	1	49
16項	イ	13	5	4			90	35	52	153	3		1		16	7	1	17	
	ロ	4	1		1		14	5	9	17	3				4			4	
17項				1		2													

※16項の2・18項～20項は該当なし

火災予防条例による届出件数

平成 30 年度

届 出 の 種 類	届 出 件 数	御 殿 場 市	小 山 町
合 計	1,729	1,340	389
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請	30	27	3
防 火 対 象 物 使 用 開 始 (変 更) 届 出	50	50	0
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー等設置届出	36	21	15
発 電 設 備 ・ 変 電 設 備 ・ 蓄 電 池 設 備 設 置 届 出	49	35	14
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届 出	0	0	0
水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球 の 設 置 届 出	0	0	0
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出	457	324	133
煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届 出	246	209	37
催 物 開 催 届 出	44	3	41
水 道 断 水 ・ 減 水 届 出	0	0	0
道 路 工 事 届 出	479	404	75
指 定 洞 道 等 届 出 (新 規 ・ 変 更)	0	0	0
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	50	40	10
少 量 危 険 物 貯 蔵 ・ 指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 い ・ 廃 止 届 出	68	43	25
露 店	220	184	36

枯草処置指導件数

平成 30 年度

調 査	調 査 延 日 数	調 査 延 人 員	調 査 件 数	調 査 延 面 積
	4 日	16 人	20 件	152.47 a
処 置	確 認 延 日 数	確 認 延 人 員	処 置 済 件 数	処 置 済 面 積
	4 日	16 人	15 件	109.27 a

月別煙火許可件数

平成 30 年度

月 別	許可合計	3号～10号の数量	スターマイン(台)	仕掛(台)	その他	手数料(円)
合 計	35	2,981	278	13	106	276,500
4 月	2	447				15,800
5 月	1	133	2			7,900
6 月	6	1,032	120		100	47,400
7 月	8	369	68		6	63,200
8 月	4	254	31	13		31,600
9 月	5	355	31			39,500
10 月	3	72	23			23,700
11 月	2	89				15,800
12 月	2	140	3			15,800
1 月	0					0
2 月	1	45				7,900
3 月	1	45				7,900

類別危険物施設数

平成 30 年度

市 町 別	施設別 類別	合計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計
合 計		696	12	114	159	8	132	2	33	25	473	98	3	110	211
御 殿 場 市	第 4 類	493	6	81	119	6	92	1	26	5	330	70	2	85	157
	そ の 他	3		2							2			1	1
	小 計	496	6	83	119	6	92	1	26	5	332	70	2	86	158
小 山 町	第 4 類	191	4	28	40	2	40	1	3	20	134	28	1	24	53
	そ の 他	9	2	3					4		7				0
	小 計	200	6	31	40	2	40	1	7	20	141	28	1	24	53

数量別危険物施設数

平成 30 年度

市 町 別	施設別 数量別	合計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
合 計		696	12	114	159	8	132	2	33	25	473	98	3	110	211	
御 殿 場 市	5倍以下	175		28	21	4	46	1	21	2	123	10	1	41	52	
	5倍を超え10倍以下	95	1	22	24	1	20		1	2	70	4	1	19	24	
	10倍を超え50倍以下	138	2	21	55	1	13		4	1	95	22		19	41	
	50倍を超え100倍以下	26	1	2	12		3				17	6		2	8	
	100倍を超え150倍以下	19		6			4				10	6		3	9	
	150倍を超え200倍以下	13	1	1	4		2				7	5			5	
	200倍を超え1000倍以下	27	1	2	3		4				9	17			17	
	1000倍を超え5000倍以下	3		1							1				2	2
	小 計	496	6	83	119	6	92	1	26	5	332	70	2	86	158	
小 山 町	5倍以下	59	1	9	5		21	1	3	1	40	9	1	8	18	
	5倍を超え10倍以下	48	1	9	6	2	15			5	37	2		8	10	
	10倍を超え50倍以下	58	2	7	22		4		2	11	46	5		5	10	
	50倍を超え100倍以下	18	2	1	7				2	2	12	3		1	4	
	100倍を超え150倍以下	6									0	5		1	6	
	150倍を超え200倍以下	5		1						1	2	2		1	3	
	200倍を超え1000倍以下	6		4							4	2			2	
	1000倍を超え5000倍以下	0									0				0	
	小 計	200	6	31	40	2	40	1	7	20	141	28	1	24	53	

業態別危険物施設の状況

平成30年度

市 町 別	施設別 業態別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計
合 計		696	12	114	159	8	132	2	33	25	473	98	3	110	211
御 殿 場 市	石 油 類 等 販 売	55			2				19		21	28		6	34
	一 般 会 社	272	6	72	79	4	36			5	196	12		58	70
	自 衛 隊	56	0	6	21		4		6		37	7		12	19
	宿 泊 所	21			2		16				18			3	3
	商 店 (販 売)	2									0			2	2
	官 公 署	31		1	14		10				25	2		4	6
	病 院 等	4		1	1	1	1				4				0
	運 輸 会 社	11		1			1				2	9			9
	塗 料 販 売	4		2							2		2		2
	そ の 他	40				1	24	1	1		27	12		1	13
	小 計	496	6	83	119	6	92	1	26	5	332	70	2	86	158
小 山 町	石 油 類 等 販 売	15							3		3	9		3	12
	一 般 会 社	110	6	23	29	2	18			20	92			12	12
	自 衛 隊	21		6	9		1				16	2		3	5
	宿 泊 所	4					3				3			1	1
	商 店 (販 売)	3									0			3	3
	官 公 署	6					5				5			1	1
	病 院 等	2					2				2				0
	運 輸 会 社	9		2					4		6	3			3
	塗 料 販 売	1									0		1		1
	そ の 他	29			2		11	1			14	14		1	15
小 計	200	6	31	40	2	40	1	7	20	141	28	1	24	53	

危険物関係届出状況

平成30年度

市町別	施設別 区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所			
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	小計
合計		123	2	34	22	1	19	0	1	2	79	17	0	25	42
御殿場市	危険物保安監督者選解任届	61	2	17	10	1	9			1	38	10		11	21
	危険物種類数量変更届	18		8	2		2				12	1		5	6
	危険物施設譲渡引渡届	5			3						3			2	2
	危険物施設用途廃止届	13		2	3		5				10			3	3
	小計	97	2	27	18	1	16	0	0	1	63	11	0	21	32
小山市	危険物保安監督者選解任届	21		6	2		3			1	12	6		3	9
	危険物種類数量変更届	0									0				0
	危険物施設譲渡引渡届	0									0				0
	危険物施設用途廃止届	5		1	2				1		4			1	1
	小計	26	0	7	4	0	3	0	1	1	16	6	0	4	10

平成31年度 危険物安全推進標語

『 無事故へと 気持ち集中 はっけよい 』

危険物施設許可・完成検査件数

平成30年度

施設別 処理状況	年度	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	小計	
許可	設置	30	11		5	2			1			8	2		1	3
		29	8		2	4				1		7			1	1
		28	6			3				2		5	1			1
	変更	30	79	16		5		2				7	7		49	56
		29	71	12	2	4		4		2		12	8		39	47
		28	105	13	2	17		3		5		27	8		57	65
完成検査	設置	30	9		4	2			1		7	1		1	2	
		29	7		3	3				1		7			0	
		28	13	1		8		1		2		11	1		1	
	変更	30	77	15		5	1	2				8	7		47	54
		29	68	11	2	4		4		2		12	8		37	45
		28	108	15	2	16		3		5		26	8		59	67

過去10年間の許可・完成検査・廃止届出件数の推移

年区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
設置許可	5	16	10	14	19	7	12	6	8	11
変更許可	49	52	73	88	100	85	73	105	71	79
完成検査	71	66	72	96	123	93	72	121	75	86
廃止届	28	35	25	35	24	18	13	18	24	18

※14年刊行版から年度表示

申請手数料収入状況

平成30年度

(単位：円)

合計	設置	変更	完成	水張	水圧	仮使用	仮貯仮取扱	再交付
4,035,950	302,000	1,994,500	1,083,250	0	22,000	480,600	129,600	24,000

広報活動の概要

平成30年度

区 分	内 容	時 期	備 考
報 道 対 応	新聞社等に情報の提供	随 時	市内の報道機関5社
広 報 紙	御殿場市、小山町の広報紙に火災予防や救急等の記事を掲載し防災意識の高揚を図る	随 時	広報ごてんば 広報おやま
施 設 見 学	行政視察	年 間	
	各種団体施設見学	年 間	
	保育園・幼稚園消防署見学	5月～11月	
	小学4年生社会科見学	5・6・11月	
防災展示ホール	団体体験者	年 間	
	個人体験者	年 間	
火災予防啓発推進事業	危険物安全週間街頭広報	6月6日	参加27人
	「救急の日」広報	9月3日～9日	救急医療週間
	静岡県「防火のつどい」	10月20日	御殿場市
	火災予防運動	11月・3月	春季・秋季火災予防週間
	幼児防火・交通安全パレード	10月31日 10月24日	御殿場 小山
	防火ポスター		BFC 御殿場南中・沼田 IFC保育園4園
防 災 訓 練	静岡県総合防災訓練	9月1日	
	地域防災訓練	11月26日 12月3日	モデル地区 市内一斉
無 線 通 報	消防だより	随 時	
	火災予防一口広報	火災予防週間	小山町
	防災の日（毎月第3日曜日）		小山町
	火災予防広報	随 時	

平成31年度全国統一防火標語

『ひとつずつ いいね！で確認 火の用心』

ひとり暮らし高齢者宅防火指導実施状況

平成30年度

市 町 別	実 施 時 期	対 象 世 帯 数	実 施 数
御 殿 場 市	春・秋季火災予防運動中等	477	230
小 山 町	春・秋季火災予防運動中等	143	95
合 計		620	325

防火指導・講習・訓練実施状況

平成30年度

項 目 対 象 団 体	実 施 回 数	実 施 内 容 (回)					受 講 人 数	指 職 員 導 数
		救 急	講 話	花 火	消 訓 防 練	そ の 他		
合 計	144	39	2	24	43	36	5,362	653
自 主 防 災 会	6	5			1		297	33
事 業 所	66	15			31	20	754	138
消 防 ク ラ ブ	15	2		12		1	1,835	177
消 防 団	8	1			6	1	267	58
小 学 校 ・ 中 学 校 ・ 高 等 学 校	20	11	2		3	4	849	105
幼 稚 園 ・ 保 育 園	24	2		12	2	8	1,243	124
そ の 他 の 団 体	5	3				2	117	18

救命講習会実施状況

平成30年度

内 容	回 数	受 講 者 数
普 通 救 命 講 習 会 I	17	237
普 通 救 命 講 習 会 II	6	80
普 通 救 命 講 習 会 III	4	50
上 級 救 命 講 習 会	3	32
合 計	30	399

甲種防火管理者資格取得講習会受講者数

(単位:人)

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
受 講 者 数	150	148	172	170	162

甲種防火管理者再講習会受講者数

(単位:人)

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
受 講 者 数	17	16	23	16	23

御殿場市小山町防火安全協会

1 目的 事業所における防火管理及び危険物等の保安管理の向上を図り、火災等の災害を防止し、自主的な活動を推進するとともに、消防機関と密接な連絡を保ち、会員相互の親睦を図ることにより、事業の健全なる振興発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

2 名称 御殿場市小山町防火安全協会

3 事務局 御殿場市東田中一丁目19番1号
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部予防課内
電話 0550-83-0119

4 設立 平成16年5月28日

5 組織 (1) 会長 1名
(2) 顧問 2名
(3) 相談役 1名
(4) 副会長 3名
(5) 監事 2名
(6) 会計 2名
(7) 理事 24名

6 会員数 平成31年3月31日現在 318会員

一般防火対象物の会員		危険物を貯蔵、取扱う施設の会員	
(1) 事務所その他の施設	34	(1) 給油取扱所	34
(2) 物販店	10	(2) LPガス販売所	18
(3) 旅館・ホテル	34	(3) 灯油販売所	3
(4) ゴルフ場・リクレーション施設	7	(4) 工場・事業所	104
(5) 工場	19	(5) 塗料販売所	2
(6) 飲食店	22	(6) 賛助事業所	4
(7) 研修所・研究所	11		
(8) パチンコ店	2		
(9) 病院・医院	14		

7 年間予算 4,500,000 円

8 事業 (1) 防火管理並びに危険物等の取扱いと管理に関する研究、調査
(2) 講習会、懇談会の開催
(3) 消防関係法令の周知徹底
(4) 防火・安全の普及、宣伝
(5) 特に功労のあった事業所、団体及び会員等の表彰
(6) 所管官庁との連絡、協力
(7) 会員相互の融和及び情報交換
(8) その他、この会の目的を達成するため必要な事業

御殿場小山幼少年女性防火委員会

御殿場市及び小山町の幼年消防クラブ、少年消防クラブ、婦人防火クラブ育成強化を通して地域の自主防災組織の育成と防火防災意識の高揚をはかるために昭和56年5月1日に「御殿場小山少年婦人防火委員会」が発足し、平成23年5月に「御殿場小山幼少年女性防火委員会」と改名しました。

- (1) 会 長 1名
- (2) 委 員 11名
- (3) 事務局 御殿場市東田中一丁目19番1号
御殿場市・小山町広域行政組合消防本部予防課内
電話 0550-83-0119

1 幼年消防クラブ：22

保育園の年長児を中心として、年間活動を通して火災予防についての理解を深めている。

主な内容は、任命式、救助隊見学、花火教室、幼児防火・交通安全パレード、修了式等を実施している。

クラブ状況

御殿場市：17

クラブ名	結 成	クラブ名	結 成
玉徳第1保育園	昭和57年5月	原里第2保育園	昭和62年5月
富岳保育園	昭和57年5月	双葉保育園	昭和62年5月
西保育園	昭和59年5月	高根学園保育所	昭和63年5月
高根第1保育園	昭和60年5月	萩原保育園	昭和63年5月
すみれ保育園	昭和60年5月	高根第2保育園	昭和63年5月
東保育園	昭和61年5月	玉徳第2保育園	昭和63年5月
原里第1保育園	昭和61年5月	とらのご保育園	平成23年4月
神上認定こども園	昭和61年5月	みらい保育園	平成26年4月
印野こども園	昭和62年5月		

小山町：5

クラブ名	結 成
すがぬま保育園	昭和58年5月
すばしり保育園	昭和58年5月
きたごうこども園	昭和59年5月
いきど保育園	昭和60年5月
菜の花こども園	平成29年4月

2 少年消防クラブ：2

地域のクラブは、地域での各種活動をとおして、各家庭へ防火を呼びかけている。

中学校のクラブは、学校の授業として活動し、防火ポスター作成や実習等の活動を通して消防の正しい理解と防火防災意識高揚を図っている。

クラブ状況

ク ラ ブ 名	結 成	主 な 活 動
沼田少年消防クラブ	大正3年8月	地域家庭に防火の呼びかけ 防火ポスター作成・防火防災体験学習等
御殿場市立南中学校少年消防クラブ	昭和56年4月	防火ポスター作成・防火防災体験学習等

3 女性防火クラブ：1

研修や視察等の活動を通して、家庭内の防火推進や地域の防火防災活動で活躍している。

クラブ員は北郷地区火防隊婦人部（昭和38年1月結成）のOG会で組織されています。

ク ラ ブ 名	結 成	主 な 活 動
御殿場小山女性防火クラブ	平成23年4月	県女性防火クラブ連絡協議会研修会・消防学校体験入校等

消防本部・消防署配置車両

平成31年4月1日

	車 両 種 別	登 録 番 号	車 名	登録年月	経過 年数	排気量等 ポンプ種別等	機装会社 (型別)	車種	
消防本部	指令車	富士山803さ2175	トヨタ	28.11	2	1.790		アリオン	
	広報車	富士山803さ2706	三菱	31.1	3	3.020		バジエロ	
	広報車	富士山503さ172	ニッサン	20.11	10	1.990		セレナ	
	査察車	富士山403さ4576	ニッサン	24.7	6	1.590		ADバン	
	その他の車両	富士山581あ3234	ダイハツ	17.12	13	0.650		アトレー	
消防署	御殿場消防署	消防ポンプ自動車	富士山803さ1781	日野	27.2	4	4.000ディーゼル4WD A-2級 2段バランスタービン	畠山ポンプ	CD-1
		水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は16	日野	12.11	18	7.960ディーゼル A-1 2段バランスタービン1,500ℓ	畠山ポンプ	I-B
		化学消防ポンプ自動車	富士山803は105	日野	23.2	8	6.400ディーゼル泡消火薬液槽5000ℓ A-2 2段バランスタービン1,300ℓ	畠山ポンプ	II型
		救助工作車	富士山840さ119	日野	17.2	14	6.400ディーゼル	テイセン	II型
		はしご付消防ポンプ自動車	富士山803は18	日野	6.11	24	17.230ディーゼル 35m級・規格地上高36.07m	森田ポンプ	専用 シャシー
		小型動力ポンプ付水槽車	富士山803は19	日野	13.3	18	20.780	畠山ポンプ	II型
		救急自動車	富士山803さ1050	トヨタ	24.1	7	2.690	テクノラフト	高規格
		救急自動車	富士山803さ702	トヨタ	22.11	8	2.690	テクノラフト	高規格
		指揮車	富士山803さ2465	トヨタ	30.2	1	2.690		ハイエース
		その他の車両	富士山803さ156	マツダ	10.8	20	2.180ディーゼル4WD		
	後方支援車	富士山803さ1344	三菱	25.2	6	2.990ディーゼル4WD	(株)パブコ		
	富士岡分署	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は22	日野	19.2	12	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段バランスタービン1,500ℓ	畠山ポンプ	I-A型
		救急自動車	富士山803さ1557	トヨタ	26.2	5	2.690	テクノラフト	高規格
		その他の車両	富士山481う2261	ダイハツ	26.2	5	0.650 4WD		ハイゼット
	西分署	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は272	日野	29.2	2	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段バランスタービン1,500ℓ	畠山ポンプ	I-B型
		救急自動車	富士山803さ2715	トヨタ	31.1	2	2.690	テクノラフト	高規格
		資機材搬送車	富士山481え1735	ダイハツ	28.8	2	0.650		ハイゼット
小山消防署	指令車	富士山803さ1875	トヨタ	27.7	3	1.790		アリオン	
	消防ポンプ自動車	富士山803さ1551	日野	26.2	5	4.000ディーゼル4WD A-2級 2段バランスタービン	畠山ポンプ	CD-1	
	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は20	日野	19.3	12	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段バランスタービン1,500ℓ	畠山ポンプ	I-A型	
	救助工作車	富士山803は300	日野	29.12	1	6.40ディーゼル	テイセン	II型	
	救急自動車	富士山803さ1340	トヨタ	25.2	6	2.690	テクノラフト	高規格	
	その他の車両	富士山481あ4944	ホンダ	21.12	9	0.650 4WD	ホンダ	アクティ-	
須走分署	水槽付消防ポンプ自動車	富士山803は23	日野	20.2	11	6.40ディーゼル 4WD A-2 2段バランスタービン1,500ℓ	畠山ポンプ	I-A型	
	救急自動車	富士山803さ699	トヨタ	22.1	8	2.690	テクノラフト	高規格	
	その他の車両	富士山481え8265	スズキ	30.6	0	0.650 4WD		キャリー	

救助資機材整備状況

平成31年4月1日現在

No.	品名	御殿場消防署	富士岡分署	西分署	小山消防署	須走分署	合計
1	ファイバースコープ	1			1		2
2	夜間用暗視カメラ	1			1		2
3	空気式救助マット	1	1	1	1	1	5
4	油圧救助器具	2	1	1	1	1	6
5	マット型空気ジャッキ	2	1	1	2	1	7
6	油圧アルミジャッキ	6	3	3	5	3	20
7	可搬式けん引機 (TU-16以上)	1	1	1	1	1	5
8	ワイヤーロープ(12mm×3m以上)	11	4	2	5	5	27
9	ワイヤーロープ(16mm×3m以上)	2	2	2		2	8
10	シャックル 3/4 インチ	6	3	3	4	3	19
11	シャックル 7/8 インチ	9	3	3	4	3	22
12	滑車ダブル(オーフ式スナッチ付き)	2	1	1	1	1	6
13	滑車シングル(アルミ製)	7	2	3	6	4	22
14	ガス溶断機 (背負い式)	2	1	1	2	1	7
15	予備ボンベ(アセチレン・酸素)	2	1	1	2	1	7
16	エンジンカッター	2	2	1	2	2	9
17	チェーンソー	6	1	2	3	2	14
18	削岩機	4	1	1	1		7
19	電動ハンマー	1	1	1	1	1	5
20	衝撃式破壊器具	2	1	1	1	1	6
21	万能斧 (弁慶)	6	2	1	4	1	14
22	発動発電機 (1kW以上)	1	1	1	5	4	12
23	ハロゲン投光器(500W・三脚付き)	9	2	2	5	2	20
24	三連はしご	3	1	1	2	1	8
25	携帯拡声器	11	2	2	7	2	24
26	ナタ・ノコセット	19	8	3	8	5	43
27	大型バール (105cm)	16	6	5	8	7	42
28	ハンマー (3.5kg)	10	5	4	8	5	32
29	掛矢	8	5	4	7	3	27
30	ナイロンロープ (12mm×200m)	4	2	1			7
31	クレモナロープ (10mm×100m)		1	1			2
32	カラビナ (スチール0型)	39	38	10	56	25	168
33	折り畳み担架及び平担架	2	1	1	3	1	8
34	バスケット型担架	2	1	1	1	1	6
35	個人線量計	13					13
36	γ線及びX線用線量率計	3			1		4
37	表面汚染測定器(α, β, γ, x線)	1					1

消防水利現況

御殿場市

平成 31 年 4 月 1 日現在

分団・地区		合	御第	富第	原第	玉第	印第	高第
水利の別		計	一分	二分	三分	四分	五分	六分
			場団	岡団	里団	穂団	野団	根団
合計		2,947	984	612	606	349	127	269
防 火 水 槽	1 0 0 m ³ 以上	公設	19	8	3	6	1	1
		私設	13		9	2		2
	60 m ³ 以上 100 m ³ 未満	公設	14	3	3	6	1	1
		私設	33	12	7	12		1
	40 m ³ 以上 60 m ³ 未満	公設	330	85	52	67	47	30
		私設	289	104	60	75	19	8
	40 m ³ 未 満	公設	151	5	18	43	36	45
		私設	83	30	20	20	10	
	小 計	公設	514	101	76	122	85	76
		私設	418	146	96	109	29	9
消 火 栓	公設	1,906	711	393	362	229	40	
	私設	28	13	1	7	3		
プ ー ル		18	5	4	6	1	1	
池 ・ そ の 他		5	1			1	1	
堰 止 施 設		58	7	42		1		

小山町

平成 31 年 4 月 1 日現在

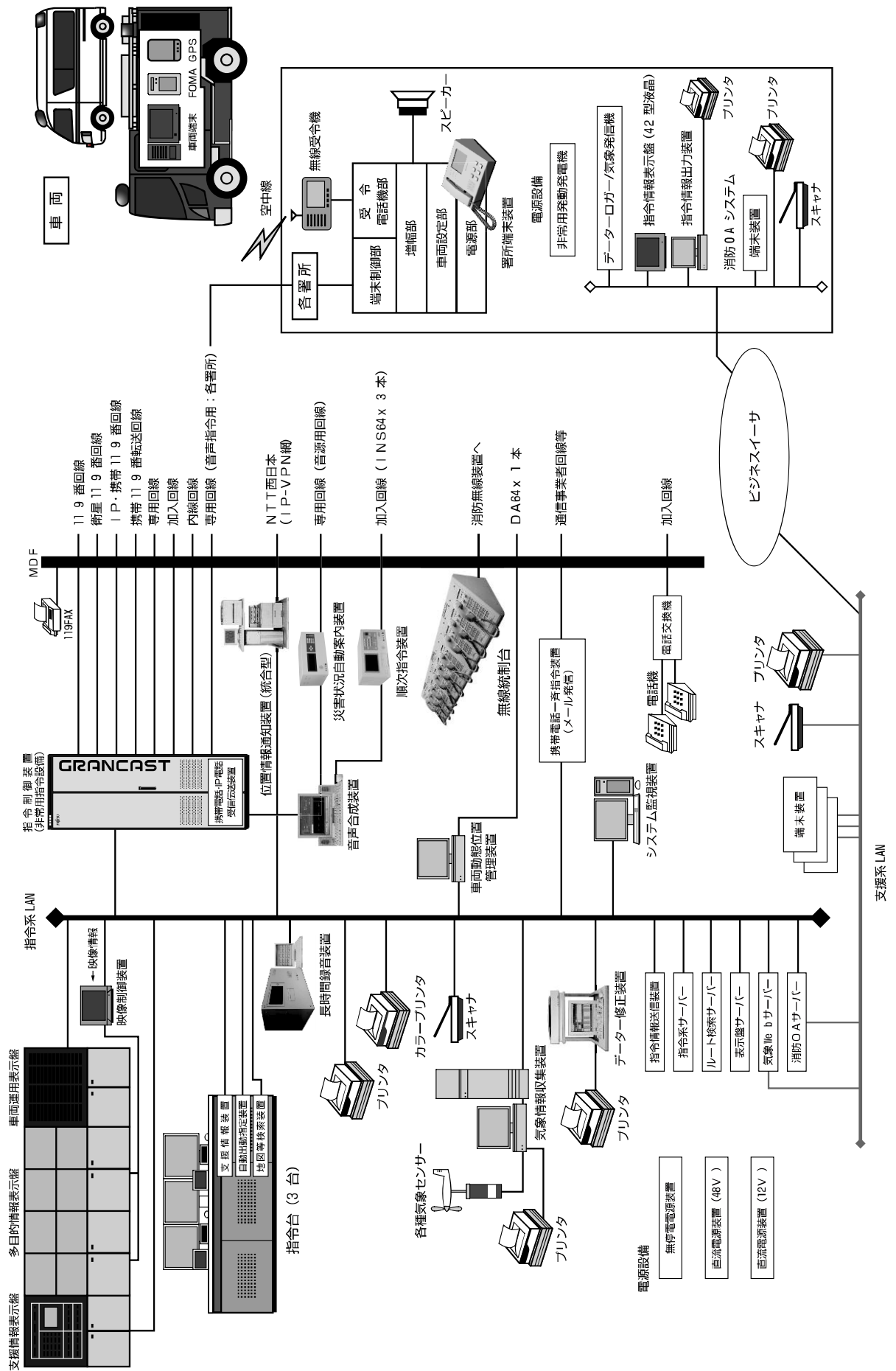
分団・地区		合	小第	菅第	藤第	足第	北第	北第	須第
水利の別		計	一分	二分	三分	四分	郷五分	郷六分	七分
			山団	沼団	曲団	柄団	北団	南団	走団
合計		954	119	79	114	112	183	220	127
防 火 水 槽	1 0 0 m ³ 以上	公設	0	0	0	0	0	0	0
		私設	0	0	0	0	0	0	0
	60 m ³ 以上 100 m ³ 未満	公設	1	1	0	0	0	0	0
		私設	2	0	0	0	1	1	0
	40 m ³ 以上 60 m ³ 未満	公設	155	12	10	18	15	29	38
		私設	21	3	2	0	2	4	5
	40 m ³ 未 満	公設	16	1	0	4	5	1	1
		私設	6	0	0	0	0	1	2
	小 計	公設	172	14	10	22	20	30	39
		私設	29	3	2	0	3	6	7
消 火 栓	公設	630	95	55	71	77	112	143	
	私設	32	2	0	6	0	22	1	
プ ー ル		8	0	1	2	2	2	0	
池 ・ そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	
堰 止 施 設		83	5	11	13	10	11	30	

平成 31 年度水防費・災害対策費当初予算額

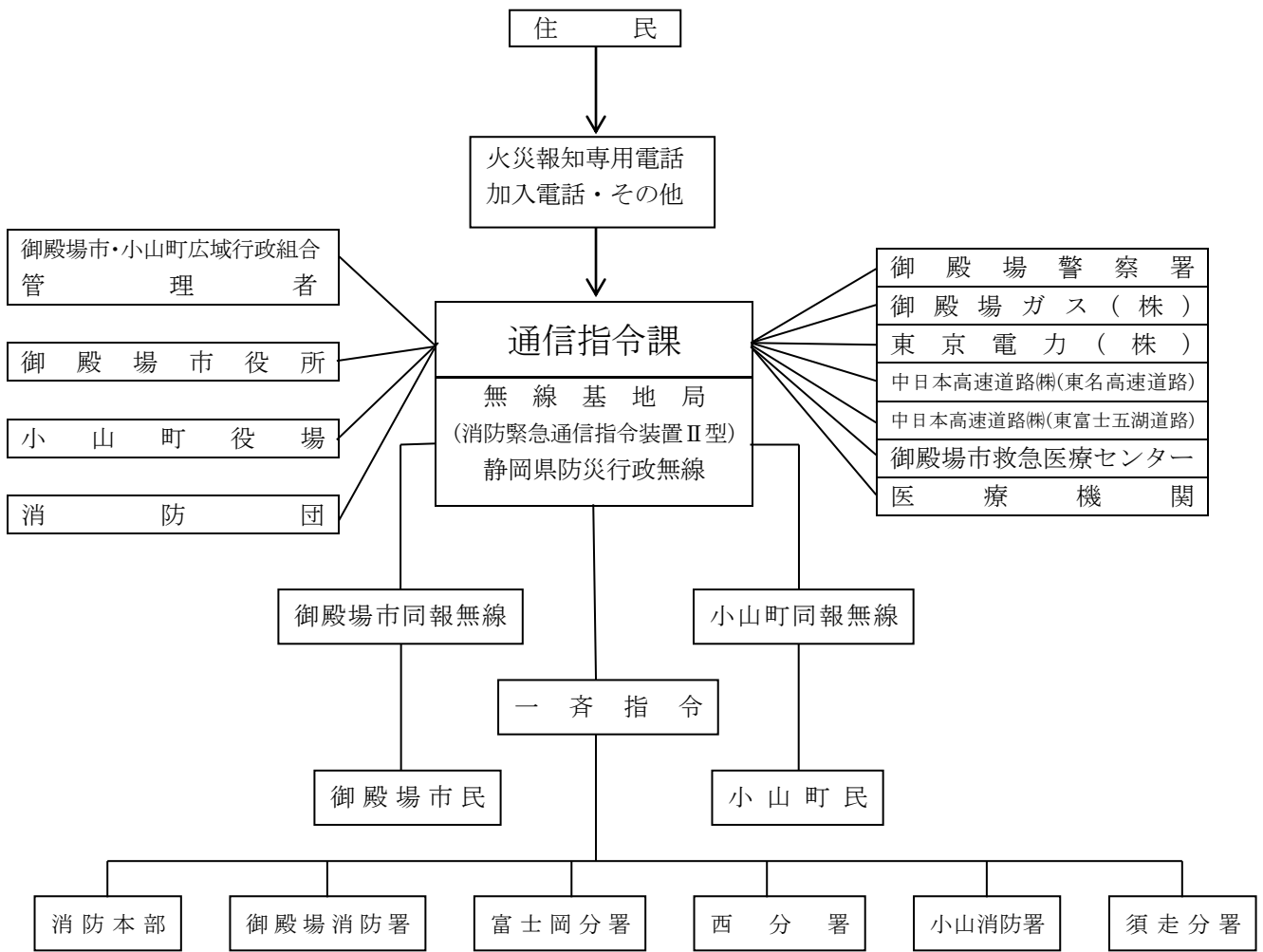
(単位：千円)

目	節	御殿場市			小山町		
		31 年度	30 年度	比較	31 年度	30 年度	比較
水 防 費		216	194	22	294	252	42
	報 酬	7	7	0	28	28	0
	職 員 手 当 等	5	5	0	90	90	0
	報 償 費			0			0
	旅 費			0	17	13	4
	需 用 費	176	128	48	13	13	0
	役 務 費			0	15	10	5
	委 託 料			0			0
	使用料及び賃借料			0	131	98	33
	原 材 料 費	28	54	△ 26			0
災 害 対 策 費		101,635	94,449	7,186	36,124	36,787	△ 618
	報 酬	81	81	0	32	32	0
	職 員 手 当 等			0	8,251	6,833	1,418
	共 済 費	963	1,205	△ 242	4,477	3,764	713
	賃 金	6,049	7,531	△ 1,482	2,162	2,162	0
	報 償 費			0	103	50	53
	旅 費	60	60	0	270	234	36
	需 用 費	16,940	13,603	3,337	10,466	9,614	852
	役 務 費	2,972	2,831	141	349	460	△ 111
	委 託 料	11,263	12,551	△ 1,288	1,350	1,338	12
	使用料及び賃借料	799	791	8	40	39	1
	工 事 請 負 費			0			0
	原 材 料 費			0			0
	備 品 購 入 費	4,281	6,081	△ 1,800	3,474	5,409	△ 1,935
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	38,202	40,316	△ 2,114	5,150	6,807	△ 1,657
	公 課 費	25	0	25	0	45	△ 45
	繰 出 金	20,000	9,399	10,601	45	0	45

高機能消防指令システム系統図

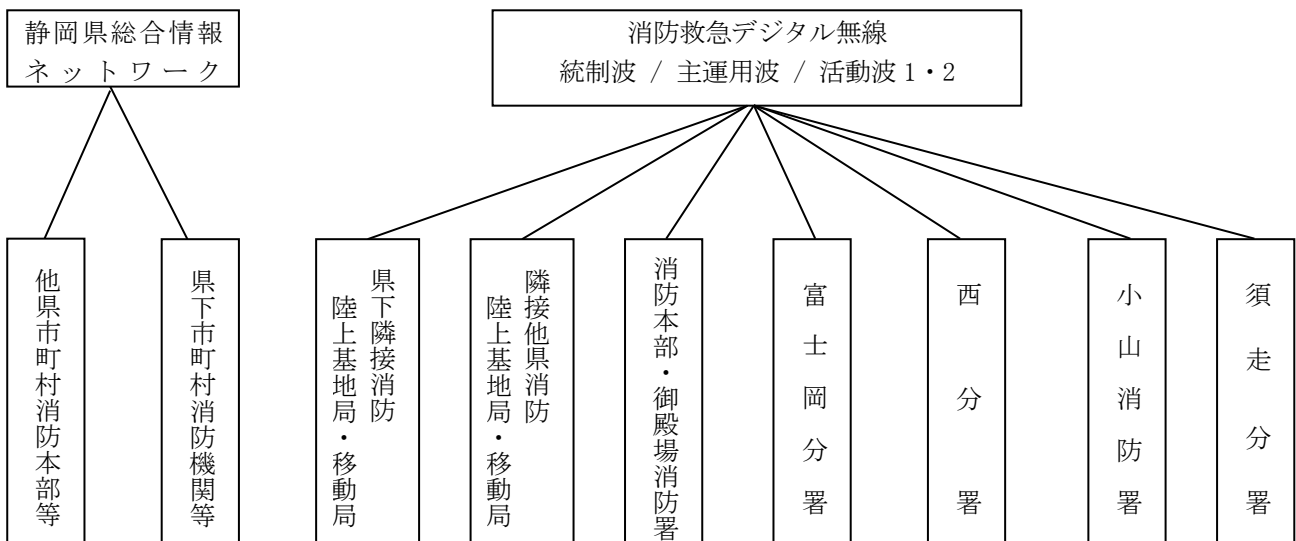


通信系統図



無線系統図

平成 31 年 4 月 1 日現在



無線基地局

平成31年4月1日現在

基地局名		ごてんば しょうぼう	おやま しょうぼう	ごてんばしょうぼう たろうがおとんねる	ごてんばしょうぼう しんつぶらのとんねる
デジタル 無線	活動波 1	10W			
	活動波 2	10W	10W		
	主運用波	10W			
	統制波	10W		10W	10W

デジタル無線陸上移動局

平成31年4月1日現在

区分 配置	名称	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3	出力 W	区分 配置	名称	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3	出力 W		
		消 防 本 部 ・ 御 殿 場 消 防 署	ごてんば 1	○	○	○	○	○			○	10	西 分 署	ごてんば 4	○	○	○	○	○
〃 2	○	○	○	○	○	○	10	〃 54 (卓上)	○	○	○	○		○	○	○	10		
〃 すいそう1	○	○	○	○	○	○	10	〃 さぎょう4	○	○	○	○		○	○	○	10		
〃 かがく1	○	○	○	○	○	○	10	〃 きゅうきゅう4	○	○	○	○		○	○	○	10		
〃 はしご1	○	○	○	○	○	○	10	〃 401 (携帯)	○	○	○	○		○	○	○	5		
〃 きゅうじよ1	○	○	○	○	○	○	10	〃 402 (携帯)	○	○	○	○		○	○	○	5		
〃 しき1	○	○	○	○	○	○	10	〃 403 (携帯)	○	○	○	○		○	○	○	5		
〃 61 (可搬型)	○	○	○	○	○	○	10	小計	7	7	7	7		7	7	7			
〃 さぎょう1	○	○	○	○	○	○	10	署活動用	6						1				
〃 しえん1	○	○	○	○	○	○	10	小 山 消 防 署	おやま 1	○	○	○		○	○	○	10		
〃 きゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	10		〃 2	○	○	○	○	○	○	10			
〃 きゅうきゅう2	○	○	○	○	○	○	10		〃 きゅうじよ1	○	○	○	○	○	○	10			
〃 ほんぶ1	○	○	○	○	○	○	10		〃 しき1	○	○	○	○	○	○	10			
〃 ほんぶ2	○	○	○	○	○	○	10		〃 51 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10			
〃 ほんぶ3	○	○	○	○	○	○	10		〃 61 (可搬型)	○	○	○	○	○	○	10			
〃 ほんぶ4	○	○	○	○	○	○	10		〃 さぎょう1	○	○	○	○	○	○	10			
〃 ほんぶ51 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10		〃 きゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	10			
〃 101 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 101 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			
〃 102 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 102 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			
〃 103 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 103 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5				
〃 104 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 104 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5				
〃 105 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 105 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5				
〃 106 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 106 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5				
〃 107 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 107 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5				
〃 108 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	小計	15	15	15	15	15	15	15				
〃 109 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	署活動用	9						1				
〃 110 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	須 走 分 署	おやま 3	○	○	○	○	○	○	10			
〃 111 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 53 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10			
〃 112 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 さぎょう3	○	○	○	○	○	○	10			
〃 201 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 きゅうきゅう3	○	○	○	○	○	○	10			
〃 202 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 301 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			
〃 203 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5		〃 302 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			
〃 204 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	〃 303 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5				
〃 205 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5	小計	7	7	7	7	7	7	7				
小計	34	34	34	34	34	34	34	署活動用	6						1				
富 士 岡 分 署	ごてんば 3	○	○	○	○	○	○	10	区分 配置	名称	活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波 1	統制波 2	統制波 3			
	〃 53 (卓上型)	○	○	○	○	○	○	10			車載型	30	30	30	30	30	30	30	
	〃 さぎょう3	○	○	○	○	○	○	10			卓上型	5	5	5	5	5	5	5	
	〃 きゅうきゅう3	○	○	○	○	○	○	10			可搬型	2	2	2	2	2	2	2	
	〃 301 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			携帯型	33	33	33	33	33	33	33	
	〃 302 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			合計	70	70	70	70	70	70	70	
	〃 303 (携帯)	○	○	○	○	○	○	5			署活動用 合計	52							
	小計	7	7	7	7	7	7												
	署活動用	6						1											

陸上移動局（防災相互通信波）

平成31年4月1日現在

名 称	防 災 相 互 通 信 波	出 力 （ W ）
ごてんばぼうたい 52（可搬型）	○	10
〃 53（可搬型）	○	10
〃 201（携帯型）	○	5
〃 202（携帯型）	○	5
〃 203（携帯型）	○	5
〃 204（携帯型）	○	5
〃 205（携帯型）	○	5
〃 207（携帯型）	○	5
〃 208（携帯型）	○	5
ふじおかぼうたい 52（可搬型）	○	10
〃 201（携帯型）	○	5
〃 202（携帯型）	○	5
にしぼうたい 52（可搬型）	○	10
〃 201（携帯型）	○	5
〃 202（携帯型）	○	5
おやまぼうたい 52（可搬型）	○	10
〃 201（携帯型）	○	5
〃 202（携帯型）	○	5
すばしりぼうたい 52（可搬型）	○	10
〃 201（携帯型）	○	5
〃 202（携帯型）	○	5

可搬型	6
携帯型	15
合計	21

通信施設・電話

平成31年4月1日現在

区 分		種 別	数	摘 要	
消 防 本 部	管理課	一般加入電話	1	82-4628	
		F A X	1	82-7153	
	予防課	一般加入電話	1	83-0119	
	警防課	一般加入電話	1	83-8151	
	通信指令課	一般加入電話	1	83-8152	
		1 1 9	30	御殿場局 5局・玉穂局 4局・神山局 2局・衛星局 1局 小山局 2局・用沢局 2局・須走局 2局・直接受信携帯電話 3局 ソフトバンク 3局・NTTひかり 2局・KDDI 1局 楽天コミュニケーションズ 2局・CTC 1局	
		緊急連絡用電話	1	発信専用(指令台)順次指令	
		専用回線	34	富士岡分署、西分署、小山消防署、須走分署 御殿場市役所、小山町役場、警察署 東名高速道路、東富士五湖道路 東京電力(株)外付け 病院・医院・御殿場市救急医療センター等	
			F A X	2	83-8180 (聴覚障害者用・83-8383)
			災害・一般案内	1	84-5000
消 防 署	御殿場消防署	一般加入電話	3	82-7150・82-7151・82-7152	
		F A X	1	82-7154	
	富士岡分署	一般加入電話	1	87-0119	
		F A X	1	87-2286	
	西分署	一般加入電話	1	88-0119	
		F A X	1	88-0750	
	小山消防署	一般加入電話	1	76-0119	
		F A X	1	76-5435	
		緊急連絡用電話	1	非公開	
	須走分署	一般加入電話	1	75-2001	
F A X		1	75-3385		

火災報知専用電話・携帯電話別 119番受付回数

平成30年

種別 月	合 計	小 計		火 災		救 急		救 助		通 報 訓 練		病 院 案 内		い ま ち が い		警 戒		そ の 他		試 験	
		火災報知専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯	専用	携帯
合計	5,974	3,962	2,012	50	18	3,085	1,743	14	31	178	10	12	32	48	120	30	18	26	39	519	1
1月	554	377	177	5	3	317	150	1	2	5	0	3	6	2	11	1	1	0	4	43	0
2月	443	322	121	1	1	262	110	1	2	9	0	0	1	3	5	1	1	1	1	44	0
3月	504	339	165	2	2	273	144	0	2	22	4	0	1	0	9	0	1	2	2	40	0
4月	442	297	145	6	3	233	127	0	1	9	0	1	1	6	10	2	2	1	1	39	0
5月	501	312	189	3	1	221	162	2	1	19	0	0	5	7	15	1	2	2	3	57	0
6月	389	270	119	3	2	196	100	0	2	14	0	0	1	1	10	3	1	3	3	50	0
7月	547	354	193	6	1	289	168	1	6	8	0	0	0	6	16	2	0	0	2	42	0
8月	637	399	238	6	0	312	214	6	5	10	1	0	1	9	11	1	2	7	4	48	0
9月	449	280	169	4	2	212	139	2	0	17	1	2	5	7	17	3	0	0	5	33	0
10月	476	320	156	1	0	240	128	1	1	18	1	1	7	3	4	8	7	4	8	44	0
11月	524	344	180	3	1	258	162	0	6	36	2	3	1	2	5	1	0	3	3	38	0
12月	508	348	160	10	2	272	139	0	3	11	1	2	3	2	7	7	1	3	3	41	1

火災概要

区 分		平成30年	平成29年	増 減	
火災件数	建 物 火 災	12	20	△ 8	
	林 野 火 災	1	1	0	
	車 両 火 災	4	8	△ 4	
	船 舶 火 災			0	
	航 空 機 火 災			0	
	そ の 他 火 災	9	17	△ 8	
	計	26	46	△ 20	
損害額 (千円)	建 物 火 災	2,094	22,720	△ 20,626	
	林 野 火 災			0	
	車 両 火 災	2,757	823	1,934	
	船 舶 火 災			0	
	航 空 機 火 災			0	
	そ の 他 火 災	60	122	△ 62	
	計	4,911	23,665	△ 18,754	
焼 損 面積等	出火建物 (㎡)	床面積	51	381	△ 330
		表面積		45	△ 45
	林 野 (a)	55	92	△ 37	
	車 両 (台)	4	13	△ 9	
焼損棟数	全	焼	1	5	△ 4
	半	焼		3	△ 3
	部	分 焼	4	7	△ 3
	ぼ	や	7	9	△ 2
	計		12	24	△ 12
り 災 世 帯	全	損		2	△ 2
	半	損		2	△ 2
	小	損	7	11	△ 4
	計		7	15	△ 8
り 災 人 員			10	43	△ 33
死 傷 者 (人)	死	者		3	△ 3
	負	傷 者	3	1	2
月 平 均	火 災 件 数 (件)		2	3	△ 1
	損 害 額 (千 円)		409	1,972	△ 1,563
全火災1件当りの損害額 (千円)			189	514	△ 325

*面積にあつては小数点以下四捨五入

過去 10 年間の火災発生状況の推移

年	区分	火災	損害額(千円)	焼 損 延 面 積 等			焼損棟数	り災世帯	死者	負傷者
				建物(㎡)	林野(a)	車両(台)				
平成30年		26	4,911	51	55	4	12	7	-	3
平成29年		46	23,665	381	92	13	24	15	3	1
平成28年		23	13,879	410	5	6	14	6	1	2
平成27年		36	48,590	485	73	8	16	7	1	2
平成26年		29	52,725	434	20	5	20	6	-	2
平成25年		39	58,473	258	5,082	16	12	7	-	11
平成24年		38	51,558	459	39	8	26	11	3	7
平成23年		55	117,518	721	341	21	31	17	3	8
平成22年		30	81,410	641	27	14	13	5	1	1
平成21年		48	36,204	243	44	13	18	4	-	10

市町等別火災発生状況

平成 30 年

市町別	種別	件数	損害額 (千円)	焼失面積等				棟損 (棟)	り災		死傷数	
				出火建物(m ²)		林野 (a)	車両 (台)		世帯 (世帯)	人員 (人)	死者 (人)	負傷者 (人)
				床面積	表面積							
合計	建物	12	2,094	51				12	7	10		2
	林野	1				55						
	車両	4	2,757				4					
	その他	9	60			111						1
	小計	26	4,911	51	0	166	4	12	7	10	0	3
御殿場市	建物	8	1,487	40				8	5	8		1
	林野	1				55						
	車両	3	2,612				3					
	その他	7	23			93						1
	小計	19	4,122	40	0	148	3	8	5	8	0	2
小山市	建物	4	607	11				4	2	2		1
	林野											
	車両											
	その他	1	3			18						
小計	5	610	11	0	18	0	4	2	2	0	1	
東名高速道路	建物											
	林野											
	車両	1	145				1					
	その他	1	34									
小計	2	179	0	0	0	1	0	0	0	0	0	

地区別火災発生状況

平成 30 年

御殿場市			小山市			東名高速道路		
地区別	件数	損害額(千円)	地区別	件数	損害額(千円)	地区別	件数	損害額(千円)
合計	19	4,122	合計	5	610	合計	2	179
御殿場	8	1,421	小山	1	42	御殿場市内上り線		
富士岡	5	2,512	足柄			御殿場市内下り線	2	179
原里	4	189	北郷	2	274	小山市内上り線		
玉穂			須走	2	294	小山市内下り線		
印野								
高根	2							

月別火災発生件数

平成 30 年

区分 月別	火災種別(件)					(構成 %) 比率	損害額(千円)					焼失面積等		
	建物	林野	車両	その他	計		建物	林野	車両	その他	計	出火建物 (m ²)	林野・ その他 (a)	車両 (台)
合計	12	1	4	9	26	100.0	2,094	0	2,757	60	4,911	床 51	166	4
1月	1		2	2	5	19.2	42		2,512		2,554	床	51	2
2月	1			2	3	11.5	283			3	286	床	20	
3月	1			1	2	7.7					0	床	84	
4月	2			2	4	15.4	397				397	床 14	11	
5月					0	0.0					0	床		
6月					0	0.0					0	床		
7月	2		1		3	11.5	271		100		371	床		1
8月			1		1	4.4			145		145	床		1
9月					0	0.0					0	床		
10月					0	0.0					0	床		
11月	2			1	3	11.5	102		23		125	床 10		
12月	3	1		1	5	19.2	999		34		1,033	床 27		

時間別火災発生件数

平成 30 年

時間 種別	合計	0時～	2時～	4時～	6時～	8時～	10時～	12時～	14時～	16時～	18時～	20時～	22時～	不明
		2時未満	4時未満	6時未満	8時未満	10時未満	12時未満	14時未満	16時未満	18時未満	20時未満	22時未満	24時未満	
建 物	12		1			2	1	1	1	2	3	1		
林 野	1						1							
車 両	4			1	1		1	1						
そ の 他	9						4	2	2		1			
計	26	0	1	1	1	2	7	4	3	2	4	1	0	0

覚知別火災発生件数

平成 30 年

市町別 種別	御 殿 場 市								
	小 計	火災報知電話 (加入除く)	火災報知電 話(加入)	火災報知電 話(携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	事後聞知	その他
建 物	8	3	3	1	1				
林 野	1						1		
車 両	3			1			2		
そ の 他	7	2	1		4				
計	19	5	4	6	1	0	3	0	0

市町別 種別	小 山 町								
	小 計	火災報知電話 (加入除く)	火災報知電 話(加入)	火災報知電 話(携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	事後聞知	その他
建 物	4			1	3				
林 野	0								
車 両	0								
そ の 他	1								1
計	5	0	0	1	3	0	0	0	1

市町別 種別	東 名 高 速 道 路			
	小 計	火災報知電話 (携帯)	加入電話 (携帯)	その他
建 物	0			
林 野	0			
車 両	1			1
そ の 他	1			1
計	2	0	0	2

原因別火災発生件数

平成 30 年

出火原因	区 分	件 数				計	損 害 額 (千円)					焼失面積等			
		建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	出火建物 (㎡)	林 野 (a)	車 両 (台)	
合 計		12	1	4	9	26	2,094	0	2,757	60	4,911	床 表 51.0 0.0		55	4
たき火					1	1					0	床 表			
車両排気管の過熱又は排気ガス				2		2			2,251		2,251	床 表			2
放火・放火の疑い		1			1	2	283			23	306	床 表			
たばこの不始末		1				1	42				42	床 表			
こんろ		2				2	246				246	床 表	3.0		
火遊び					1	1				3	3	床 表			
ストーブ		1				1	843				843	床 表	27.0		
煙突・煙道		1				1	151				151	床 表	11.0		
焼却炉		1				1	89				89	床 表	10.0		
灯火		1				1	13				13	床 表			
電灯・電話等の配線		1				1					0	床 表			
電気機器					1	1				34	34	床 表			
その他		3	1	1	2	7	427		100		527	床 表		55	1
不明				1	3	4			406		406	床 表			1
						0					0	床 表			
						0					0	床 表			

月別・事故種別救急活動状況

平成 30 年

事故種別 覚知月		火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等搬送	その他	合計
1	出動件数	1			39	2		64	1	1	274	89				471
	搬送件数	1			35	2		59	1	1	243	89				431
	搬送人員	1			41	2		59	1	1	245	89				439
2	出動件数	1			28	7	1	44		3	208	79				371
	搬送件数	1			25	7	1	42		2	194	79				351
	搬送人員	1			25	7	1	42		2	194	79				351
3	出動件数		2		48	4	3	54	1	4	229	71			2	418
	搬送件数				45	4	3	53		4	208	71			2	390
	搬送人員				51	4	3	53		4	208	71			2	396
4	出動件数				24	3	5	47	3	5	199	75			2	363
	搬送件数				22	3	5	42	2	4	191	75				344
	搬送人員				25	3	5	42	3	4	191	75				348
5	出動件数				49	8	5	44		3	220	56			1	386
	搬送件数				46	8	5	43		2	208	56			1	369
	搬送人員				53	8	5	43		2	208	56			1	376
6	出動件数				30	7	3	32	2	3	160	67			2	306
	搬送件数				28	7	3	31	1	2	150	67				289
	搬送人員				36	7	3	31	1	2	150	67				297
7	出動件数				39	10	3	54		5	274	77				462
	搬送件数				36	10	3	50		4	262	77				442
	搬送人員				38	10	3	50		4	263	77				445
8	出動件数				46	5	7	69		5	299	86			2	519
	搬送件数				38	5	7	66		3	276	86				481
	搬送人員				43	5	7	66		3	278	86				488
9	出動件数				35	7	1	55	1	2	191	67				359
	搬送件数				33	7	1	53	1	2	183	67				347
	搬送人員				40	7	1	53	1	2	187	67				358
10	出動件数				41	6	3	61	1	2	183	71			2	370
	搬送件数				39	6	3	57			170	71				346
	搬送人員				43	6	3	57			170	71				350
11	出動件数				34	5	2	75		7	222	79			2	426
	搬送件数				27	4	2	72		3	205	79			2	394
	搬送人員				30	4	2	72		3	205	79			2	397
12	出動件数	1			28	3	1	66		4	246	74				423
	搬送件数	1			24	3	1	61		3	229	74				396
	搬送人員	1			26	3	1	61		3	232	74				401
合計	出動件数	3	2	0	441	67	34	665	9	44	2,705	891	0	0	13	4,874
	搬送件数	3	0	0	398	66	34	629	5	30	2,519	891			5	4,580
	搬送人員	3	0	0	451	66	34	629	6	30	2,531	891			5	4,646

地区別・事故種別出動件数及び搬送人員

平成30年

事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他	合計
出動地区																
御殿場	出動件数	1			117	10	7	214	4	14	893	592			4	1,856
	搬送人員	1			119	10	7	202	4	10	819	592			2	1,766
高根	出動件数				22	4	2	37		2	103	3				173
	搬送人員				20	4	2	34		2	97	3				162
原里	出動件数				65	15	4	87	2	4	415	117			2	711
	搬送人員				66	15	4	82	1	3	397	117			2	687
玉穂	出動件数				38	5	3	51		8	243	67			3	418
	搬送人員				36	5	3	47		6	228	67				392
印野	出動件数				2	3		12		1	49					67
	搬送人員				2	3		12		1	44					62
富士岡	出動件数	1			59	13	14	112		5	420	36			1	661
	搬送人員	1			61	13	14	109		1	398	36			1	634
小計	出動件数	2	0	0	303	50	30	513	6	34	2,123	815	0	0	10	3,886
	搬送人員	2	0	0	304	50	30	486	5	23	1,983	815	0	0	5	3,703
小山	出動件数	1			21	4		57	1		218	4			2	308
	搬送人員	1			23	3		55	1		208	4				295
足柄	出動件数				8	3		22		2	61					96
	搬送人員				8	3		20		2	57					90
北郷	出動件数				40	7	4	29	1	2	121	69				273
	搬送人員				42	7	4	27		1	116	69				266
須走	出動件数		2		12	3		39		4	120	3			1	184
	搬送人員				12	3		37		2	108	3				165
小計	出動件数	1	2	0	81	17	4	147	2	8	520	76	0	0	3	861
	搬送人員	1	0	0	85	16	4	139	1	5	489	76	0	0	0	816
東名上り	出動件数				46			1	1		38					86
	搬送人員				53			1			36					90
東名下り	出動件数				7			3		2	22					34
	搬送人員				6			3		2	21					32
御殿場IC	出動件数										1					1
	搬送人員										1					1
新東名	出動件数				3											3
	搬送人員				3											3
小計	出動件数				56			4	1	2	61					124
	搬送人員				62			4		2	58					126
その他	出動件数				1			1			1					3
	搬送人員										1					1
合計	出動件数	3	2	0	441	67	34	665	9	44	2,705	891	0	0	13	4,874
	搬送人員	3	0	0	451	66	34	629	6	30	2,531	891	0	0	5	4,646

地区別・傷病程度別・性別搬送人員

傷病程度 性別		死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計	男性	女性	
出動地区										
御殿場		26	200	916	624		1,766	953	813	
高根		9	13	80	60		162	94	68	
原里		10	74	331	272		687	359	328	
玉穂		3	34	204	151		392	242	150	
印野		1	5	23	33		62	34	28	
富士岡		8	53	277	296		634	345	289	
小計		57	379	1,831	1,436	0	3,703	2,027	1,676	
小山		11	21	155	108		295	169	126	
足柄		7	10	47	26		90	47	43	
北郷		6	33	134	93		266	167	99	
須走		3	18	66	78		165	101	64	
小計		27	82	402	305	0	816	484	332	
東名上り		1	3	30	56		90	60	30	
東名下り			4	13	15		32	24	8	
御殿場IC					1		1		1	
新東名上り							0			
新東名下り				2	1		3	1	2	
小計							126	85	41	
その他				1			1	1		
合計		84	468	2,234	1,741	0	4,646	2,597	2,049	

署別・月別出動件数及び搬送人員

平成30年

覚知月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
出動署	出動件数													
	搬送人員													
御殿場消防署	出動件数	181	133	163	164	153	114	170	189	154	147	160	166	1,894
	搬送人員	172	126	152	156	147	113	163	174	154	138	148	154	1,797
富士岡分署	出動件数	74	69	66	44	59	52	76	74	48	62	69	71	764
	搬送人員	66	63	65	44	56	54	76	73	48	57	61	72	735
西分署	出動件数	115	88	102	81	93	80	116	121	98	87	96	99	1,176
	搬送人員	106	84	95	76	94	75	106	115	96	84	91	93	1,115
小山消防署	出動件数	77	62	61	56	51	40	61	82	38	51	83	61	723
	搬送人員	73	60	61	53	49	37	61	79	37	50	78	58	696
須走分署	出動件数	24	19	26	18	30	20	39	53	21	23	18	26	317
	搬送人員	22	18	23	19	30	18	39	47	23	21	19	24	303
消防本部	出動件数													0
	搬送人員													0
合計	出動件数	471	371	418	363	386	306	462	519	359	370	426	423	4,874
	搬送人員	439	351	396	348	376	297	445	488	358	350	397	401	4,646

署別・曜日別出動件数及び搬送人員

平成30年

覚知曜日		月	火	水	木	金	土	日	合計
出動署	出動件数								
	搬送人員								
御殿場消防署	出動件数	305	262	261	243	242	272	309	1,894
	搬送人員	293	246	247	228	227	263	293	1,797
富士岡分署	出動件数	110	125	123	104	85	107	110	764
	搬送人員	106	116	121	101	81	104	106	735
西分署	出動件数	192	167	158	167	149	168	175	1,176
	搬送人員	185	157	145	163	143	159	163	1,115
小山消防署	出動件数	97	102	91	109	114	99	111	723
	搬送人員	97	101	85	104	111	93	105	696
須走分署	出動件数	43	29	33	54	47	51	60	317
	搬送人員	42	28	31	52	42	50	58	303
消防本部	出動件数								0
	搬送人員								0
合計	出動件数	747	685	666	677	637	697	765	4,874
	搬送人員	723	648	629	648	604	669	725	4,646

曜日別・事故種別救急活動状況

平成30年

事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他	合計
曜日	出動件数	1	2		61	12		101		5	406	156			3	747
	搬送件数	1			56	12		100		3	385	156			2	715
	搬送人員	1			64	12		100		3	385	156			2	723
月	出動件数	1			39	14	4	85	2	7	393	137			3	685
	搬送件数	1			35	14	4	80		4	367	137			1	643
	搬送人員	1			38	14	4	80		4	369	137			1	648
火	出動件数	1			63	9	4	79	1	9	387	111			2	666
	搬送件数	1			59	9	4	72		6	360	111			2	624
	搬送人員	1			61	9	4	72		6	363	111			2	629
水	出動件数				64	12	2	101	1	8	363	123			3	677
	搬送件数				62	11	2	98	1	4	338	123				639
	搬送人員				68	11	2	98	1	4	341	123				648
木	出動件数				51	10	4	86	3	3	377	103				637
	搬送件数				44	10	4	81	3	2	346	103				593
	搬送人員				54	10	4	81	4	2	346	103				604
金	出動件数				68	4	10	117		6	368	124				697
	搬送件数				64	4	10	108		5	343	124				658
	搬送人員				75	4	10	108		5	343	124				669
土	出動件数				95	6	10	96	2	6	411	137			2	765
	搬送件数				78	6	10	90	1	6	380	137				708
	搬送人員				91	6	10	90	1	6	384	137				725
日	出動件数	3	2	0	441	67	34	665	9	44	2,705	891	0	0	13	4,874
	搬送件数	3	0	0	398	66	34	629	5	30	2,519	891	0	0	5	4,580
	搬送人員	3	0	0	451	66	34	629	6	30	2,531	891	0	0	5	4,646

時間別・事故種別出動件数

平成30年

事故種別 覚知時間	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等搬送	その他	合計
0 ~ 1				8	1		17			77	19				122
1 ~ 2				5			10		2	58	14				89
2 ~ 3				7			13	1		64	12				97
3 ~ 4	1			6			5	1	1	55	12				81
4 ~ 5				6	1		8		3	53	8			1	80
5 ~ 6				7	1		12		4	51	13			1	89
6 ~ 7				12			22		2	107	15				158
7 ~ 8				19	3		26		2	149	14				213
8 ~ 9				25	3		39			154	29			1	251
9 ~ 10				18	11	1	46		1	153	44			2	276
10 ~ 11				44	9	2	49		3	143	75				325
11 ~ 12	1			29	3	5	39		1	141	69			2	290
12 ~ 13				20	3	5	36			153	80			2	299
13 ~ 14	1			18	8	6	36		3	131	66			2	271
14 ~ 15				43	7	4	34		1	137	40				266
15 ~ 16				31	4	6	42	1		137	58			1	280
16 ~ 17				38	4	3	39		3	129	59				275
17 ~ 18				28	2	1	37		5	126	43				242
18 ~ 19				18			32		1	143	29				223
19 ~ 20				13	3	1	26	1	2	150	40				236
20 ~ 21				15	2		35	2	5	124	45				228
21 ~ 22				12	1		27	2	1	111	47				201
22 ~ 23		2		11	1		23		2	82	36				157
23 ~ 24				8			12	1	2	77	24			1	125
合計	3	2	0	441	67	34	665	9	44	2,705	891	0	0	13	4,874

年齢別・性別・事故種別搬送人員

平成30年

事故種別 年齢・性別	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	合計	
0~4	男性			5			15			48	33	101	
	女性			4			16			48	16	84	
	計			9			31			96	49	185	
5~9	男性			8			10			18	8	44	
	女性			5			3			10	5	23	
	計			13			13			28	13	67	
10~19	男性			29	1	20	11		3	43	13	120	
	女性			13		3	6		1	47	6	76	
	計			442	1	23	17		4	90	19	596	
20~29	男性			45	7	3	14		2	78	21	170	
	女性			21	1	2	4	1	6	82	18	135	
	計			66	8	5	18	1	8	160	39	305	
30~39	男性			41	6	2	16	1	1	72	23	162	
	女性			23	1		11		3	81	28	147	
	計			64	7	2	27	1	4	153	51	309	
40~49	男性	1		57	17	3	15	2	1	110	53	259	
	女性			30	2		14		2	99	19	166	
	計	1		87	19	3	29	2	3	209	72	424	
50~59	男性			45	10		31	1	3	110	49	249	
	女性			17	5		14		1	80	22	139	
	計			62	15		45	1	4	190	71	388	
60~69	男性	1		27	7		51	1	2	203	61	353	
	女性			21	2		27			134	40	224	
	計	1		48	9		78	1	2	337	101	576	
70~79	男性			23	6	1	64		1	264	109	468	
	女性			18			53		1	191	64	327	
	計			41	6	1	117		2	455	173	795	
80以上	男性	1		8	1		102		3	404	152	671	
	女性			11			152			409	156	728	
	計	1		19	1		254		3	813	308	1,398	
年齢不明	男性												
	女性												
	計												
合計	男性	3	0	0	288	55	29	329	5	16	1,350	522	2,597
	女性	0	0	0	163	11	5	300	1	14	1,181	374	2,049
	計	3	0	0	451	66	34	629	6	30	2,531	896	4,646

※事故種別のその他には、転院搬送・医師搬送・資器材等搬送・その他が含まれる

傷病程度別・性別・事故種別搬送人員

平成30年

傷病程度 性別		事故種別										合計	
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病		その他
死亡	男性				1			3		2	47		53
	女性							1			31		32
	計				1			4		2	78		85
重症	男性				20	6	2	13		7	150	89	287
	女性				3		1	15		2	101	59	181
	計				23	6	3	28		9	251	148	468
中等症	男性	3			90	33	14	124	3	3	615	389	1,274
	女性				38	5	1	145		6	523	287	1,005
	計	3			128	38	15	269	3	9	1,138	676	2,279
軽症	男性				177	16	13	189	2	4	538	44	983
	女性				122	6	3	139	1	6	526	28	831
	計				299	22	16	328	3	10	1,064	72	1,814
その他	男性												0
	女性												0
	計												0
合計	男性	3	0	0	288	55	29	329	5	16	1,350	522	2,597
	女性	0	0	0	163	11	5	300	1	14	1,181	374	2,049
	計	3	0	0	451	66	34	629	6	30	2,531	896	4,646

救急出動10年間の推移

平成30年

区分		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
出動件数		3,813	4,136	4,204	4,156	4,162	4,322	4,330	4,499	4,626	4,874
事故種別	火災	12	1	8	10	8	4	5	3	3	3
	自然災害		4	6	3		1			2	2
	水難事故		1		2		1	5	1		
	交通事故	464	572	508	462	425	476	386	430	449	441
	労働災害	42	41	45	33	51	48	52	44	46	67
	運動競技	13	15	18	13	21	26	29	33	33	34
	一般負傷	527	507	549	563	596	598	591	586	588	665
	加害	22	20	14	22	16	19	12	12	12	9
	自損行為	44	66	60	45	46	45	38	37	38	44
	急病	1,960	2,096	2,187	2,207	2,226	2,293	2,384	2,511	2,526	2,705
その他	729	813	809	796	773	811	828	842	929	904	
搬送件数		3,559	3,809	3,875	3,845	3,912	4,098	4,107	4,222	4,295	4,580
搬送人員		3,672	3,926	3,978	3,935	4,008	4,175	4,192	4,310	4,399	4,646
内訳	男性	2,098	2,238	2,279	2,187	2,297	2,351	2,355	2,447	2,445	2,598
	女性	1,574	1,688	1,699	1,748	1,711	1,824	1,837	1,863	1,954	2,048
傷病程度	死亡	117	126	122	113	139	113	103	79	68	85
	重症	336	346	337	315	287	323	369	456	426	468
	中等症	1,518	1,636	1,578	1,617	1,690	1,736	1,905	2,085	2,195	2,279
	軽症	1,696	1,816	1,940	1,888	1,892	2,003	1,815	1,690	1,709	1,814
	その他	5	2	1	2						1

※傷病程度のその他は医師の診断のないものをいう

※事故種別のその他には、転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他が含まれる

東名高速道路月別・事故種別出動件数

平成30年

月 事故種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
火 災													0
自然災害													0
水難事故													0
交通事故	3	2	3	2	3	3	1	12	8	9	9	1	56
労働災害													0
運動競技													0
一般負傷			1		1			1			1		4
加 害				1									1
自損行為												2	2
急 病	5	3	2	7	7	2	3	14	3	3	6	6	61
そ の 他													0
合 計	8	5	6	10	11	5	4	27	11	12	16	9	124

東名高速道路傷病程度別・事故種別搬送人員

平成30年

事故種別 傷病程度	火 災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				1								1
重 症				2					2	3		7
中等症				24			1			20		45
軽 症				35			3			35		73
その他												0
合 計	0	0	0	62	0	0	4	0	2	58	0	126

東名高速道路救急出動10年間の推移

平成30年

区 分		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
出 動 件 数		84	114	98	110	105	113	111	124	149	124
事 故 種 別	火 災						1			1	
	自然災害				1					0	
	水難事故									0	
	交通事故	46	76	43	49	52	61	37	48	56	56
	労働災害				1	2		1	1	0	
	運動競技									0	
	一般負傷	10	4	10	5	11	7	12	12	18	4
	加 害						1			0	1
	自損行為		3	1		1		1	1	0	2
急 病	28	29	42	54	39	43	60	62	74	61	
そ の 他		2	2						0		
搬 送 件 数		75	97	89	97	95	99	96	110	131	109
搬 送 人 員		104	125	101	108	125	116	113	128	170	126
内 訳	男 性	63	83	66	64	75	80	77	81	101	85
	女 性	41	42	35	44	50	36	36	47	69	41
傷 病 程 度	死 亡	3	1	2	2	2	1	3	1	2	1
	重 症	6	1	6	5	4	3	5	4	0	7
	中等症	18	24	19	24	23	26	31	39	62	45
	軽 症	75	99	74	77	96	86	74	84	106	73
	そ の 他	2								0	

※傷病程度のその他は医師の診断のないものをいう

※事故種別のその他には、転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他 が含まれる

救助業務実施状況

平成30年

区分	年	30年								29年	
		件数	御殿場市		小山町		東名高速道路		管轄外		件数
			件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
出動件数	65	43	66.2%	17	26.2%	5	7.7%	0	0.0%	41	
活動件数	47	29	61.7%	14	29.8%	4	8.5%	0	0.0%	33	
救助人員	53	35	66.0%	14	26.4%	4	7.5%	0	0.0%	33	
出動車両数	189	130	68.8%	39	20.6%	20	10.6%	0	0.0%	124	
出動延べ人員	562	394	70.1%	107	19.0%	61	10.9%	0	0.0%	351	

※管轄外とは御殿場市、小山町、東名高速道路を除く地域（神奈川県、山梨県、裾野市等）

救助業務事故種別・曜日・祝日等別出動件数

平成30年

事故種別	曜日	曜日								
		合計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	祝日等
合計		65	13	10	5	13	7	10	7	17
火災										
交通事故		28	4	4	3	5	3	7	2	6
水難事故		2		1				1		
自然災害		1	1							1
機械等による事故		2		1		1				1
建物等による事故		2	1	1						1
ガス事故・酸欠事故		0								
破裂事故		0								
その他		30	7	3	2	7	4	2	5	8

※祝日等は内数として表示

時間別救助出動状況

平成30年

時間	合計	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
件数	65	3	5	4	2	6	7	4	10	5	6	8	5

御殿場市消防団

沿革

昭和30年2月11日、御殿場町、富士岡村、原里村、玉穂村及び印野村の1町4村の合併により御殿場市が誕生した。それに伴って消防団も合併し、御殿場市消防団として発足した。旧御殿場町を第1分団、旧富士岡村を第2分団、旧原里村を第3分団、旧玉穂村を第4分団、旧印野村を第5分団とし、団員611名、ポンプ自動車8台、可搬式ポンプ20台、腕用ポンプ29台で活動を開始した。

昭和31年1月1日に高根村が御殿場市と合併し、第6分団となり、団員733名、ポンプ自動車9台、可搬式ポンプ27台、腕用ポンプ29台となった。翌年の昭和32年9月1日に北郷村の古沢地区が御殿場市に合併し、消防団も第6分団に編入され、団員746名、ポンプ自動車9台、可搬式ポンプ28台、腕用ポンプ29台となった。

昭和40年4月1日、御殿場市消防本部・消防署が設置された。それに伴い消防団は消防団と各地区の火防隊とに再編成された。消防団は団員376名、ポンプ自動車11台、可搬式ポンプ15台の少数精鋭を図った編成替えとなり、その後逐次可搬式ポンプをポンプ自動車に切り替え、ポンプ自動車26台、林野火災工作車1台の計27台の近代的な装備と機動力を備えている。

平成23年4月1日、男女共同参画社会及び消防団員の活性化事業の一環としての女性消防団員登用に伴い、御殿場市消防団員の条例定員を376名から396名に改め、更に、出動費用弁償の内、水火災時の出動手当を1,500円から2,000円に改める条例の一部改正を行った。

平成25年4月1日、消防団員のサラリーマン化を受け、平日昼間の建物火災への対応として、機能別団員制度を導入し、現在**378名（女性団員19名）**のうち、**25名**の機能別団員が在籍している。また、運転免許制度の改定等に伴い、平成25年度納車のポンプ自動車よりオートマチック車の導入を開始した。

平成28年度4月1日、地域力の向上と御殿場市消防団員の継続的な確保を目的として、御殿場市に存在する事業所等が消防団員等に対する支援等を行う御殿場市消防団サポート事業制度を制定し、消防団の活性化を図る。

平成31年4月1日、大災害対応をはじめ、地域防災力の要として、消防団の役割と重要性が改めて注目される中で、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されたこと、また、団員確保のための方策として、団員報酬額を国で目安とする団員報酬額の水準まで引き上げた。

小山町消防団

沿革

昭和23年11月1日、小山町消防団は第1分団と第2分団で発足した。管轄区域は第1分団が生土、音淵、落合、藤曲、中島、柳島及び湯船。第2分団は、菅沼、茅沼、南藤曲、大脇及び上合を担当した。当時の団員は団長以下95名、ポンプ自動車2台で活動した。

昭和28年1月16日に新しく第3分団を設置し、管轄区域を藤曲、南藤曲、中島、柳島及び湯船とした。

昭和30年4月1日に足柄村と合併し、旧足柄村を第4分団とし、分団長以下50名の団員とポンプ自動車1台、腕用ポンプ1台で活動を開始した。

昭和31年8月1日に北郷村と合併し、旧北郷村を第5分団、第6分団とし、分団長以下25名の団員とポンプ自動車1台、腕用ポンプ4台で活動を開始した。同年9月30日、須走村と合併し旧須走村を第7分団とし、分団長以下40名の団員と手引動力ポンプ1台、腕用ポンプ2台で活動を開始した。

平成22年5月1日、男女共同参画社会及び消防団員の活性化事業の一環として女性消防団員が発足し団本部に籍を置き活動を開始した。

平成23年3月には団本部に火災予防広報車を配備した。

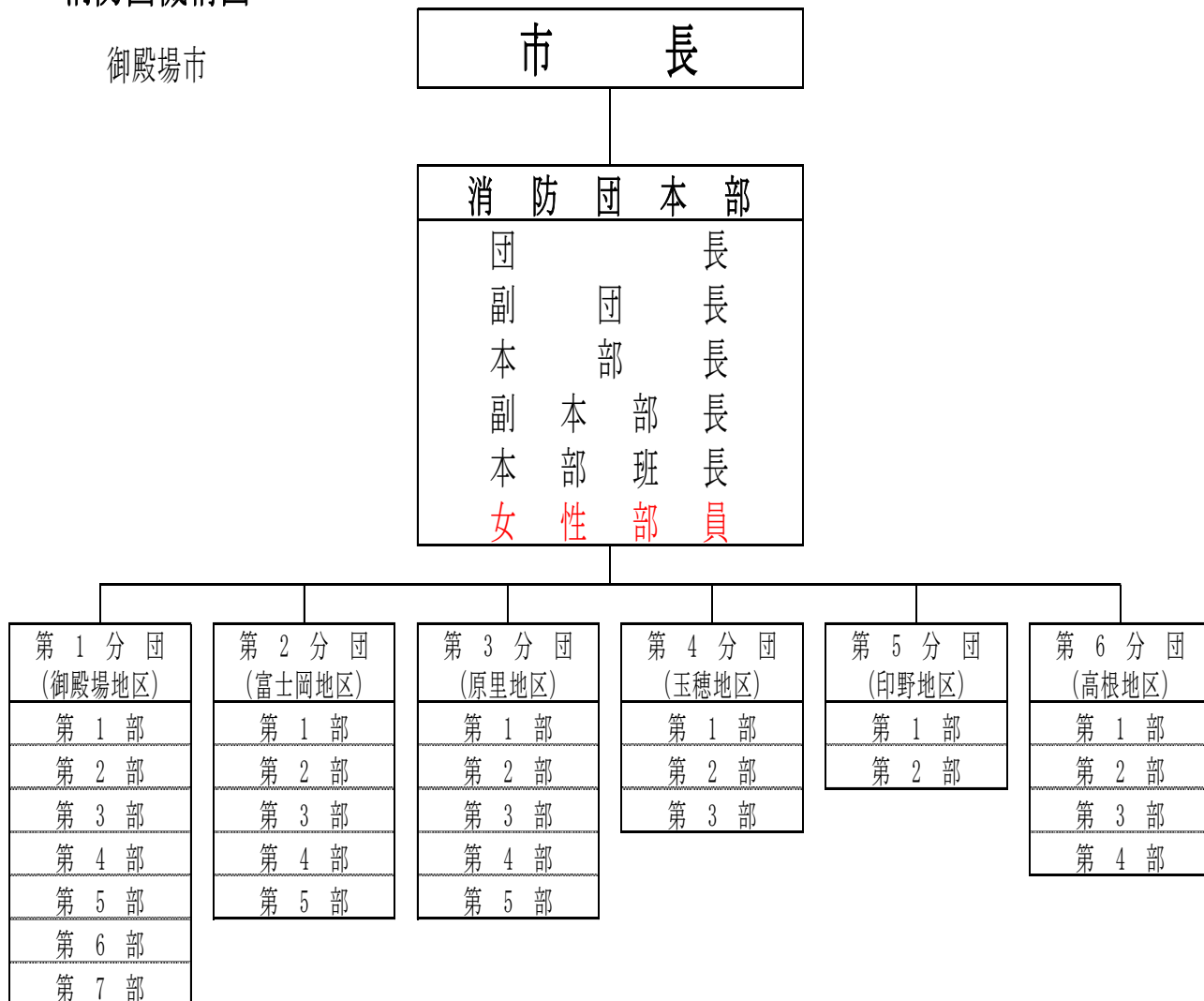
平成6年以降5つの分団詰所を新設した。

消防ポンプ自動車については、運転免許制度の改定等に伴い、平成16年度以降シャシをCD-IIから小型化するためCD-Iへ車種替えし、平成30年度よりCD-Iのオートマチック車の導入を開始した。

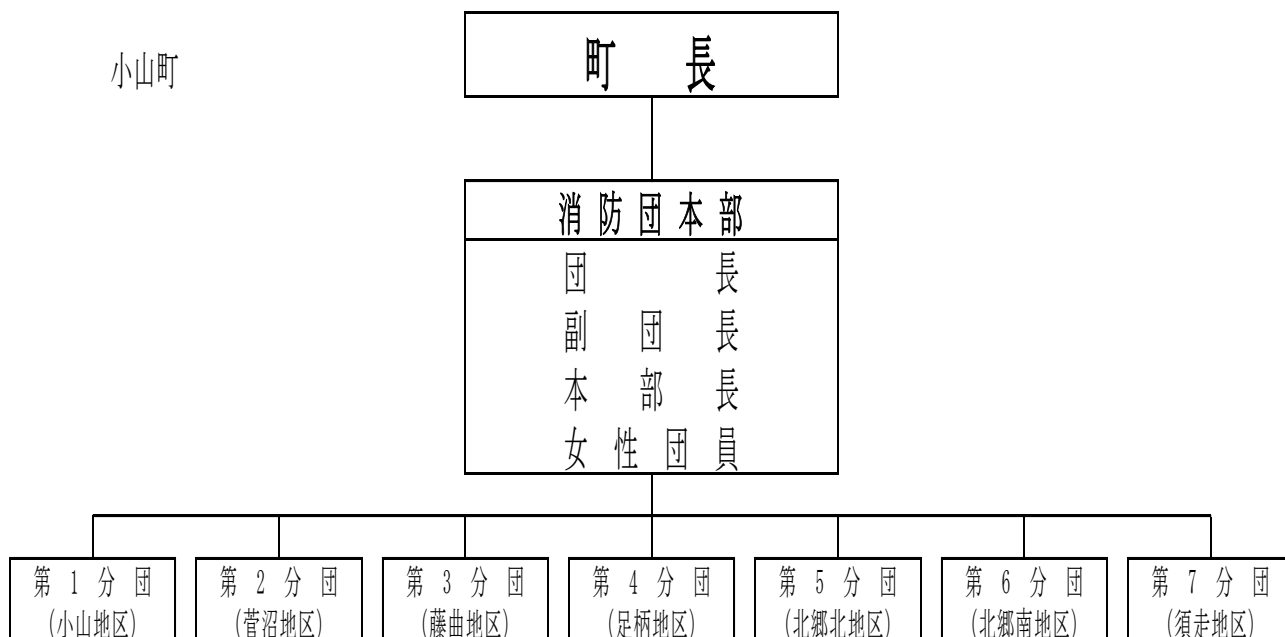
現在は団員160名、ポンプ自動車7台、火災予防広報車1台で防火及び水防体制に万全を期している。

消防団機構図

御殿場市



小山町



平成31年度非常備消防費当初歳出予算

(単位：千円)

目	節	御 殿 場 市			小 山 町		
		31年度	30年度	比 較	31年度	30年度	比 較
非常備 消防費		106,943	114,982	△ 8,039	125,390	72,818	52,572
	報 酬	14,365	11,392	2,973	5,936	5,936	0
	職 員 手 当 等	527	475	52	300	300	0
	共 済 費	8,940	8,940	0			0
	災 害 補 償 費	45	50	△ 5	100	100	0
	恩 給 及 び 退 職 年 金	0		0	2,542	2,538	4
	賃 金	1,871	1,871	0	1,349	1,349	0
	報 償 費	8,647	16,301	△ 7,654	2,120	2,583	△ 463
	旅 費	8,944	8,482	462	15,087	13,082	2,005
	交 際 費	25	30	△ 5	100	100	0
	需 用 費	8,750	9,409	△ 659	6,443	4,838	1,605
	役 務 費	851	871	△ 20	1,179	1,042	137
	委 託 料	43		43	527	2,590	△ 2,063
	使用料及び賃借料	1,840	1,843	△ 3	425	1,771	△ 1,346
	工 事 請 負 費				60,517	0	60,517
	公 有 財 産 購 入 費				20,000	0	20,000
	原 材 料 費						
	備 品 購 入 費	25,944	27,330	△ 1,386	1,580	29,510	△ 27,930
	負担金補助及び交付金	25,489	27,309	△ 1,820	7,070	6,865	205
	公 課 費	662	679	△ 17	115	214	△ 99
消 防 施 設 費		14,961	25,752	△ 10,791	1,362	1,362	0
	職 員 手 当 等	17	16	1			0
	旅 費			0			0
	需 用 費	6,965	7,054	△ 89	818	818	0
	役 務 費	172	158	14			0
	委 託 料	252	633	△ 381			0
	使用料及び賃借料	0		0	4	4	0
	工 事 請 負 費	0	6,031	△ 6,031			0
	原 材 料 費	672	3,229	△ 2,557	540	540	0
	備 品 購 入 費	0		0			0
	負担金補助及び交付金	6,883	8,631	△ 1,748			0
	償 還 金	0		0			0
	公 課 費	0		0			0

消防団員階級別年齢

平成31年4月1日現在

年齢		階級		合計	団長	副団長	分団長 (本部長含む)	副分団長 (副本部長含む)	部長 (本部班長含む)	班長	団員 (機能別団員含む)
		合計									
合計				538	2	5	19	14	41	86	371
御 殿 場 市	20歳未満			0							
	20歳～24歳			26						1	25
	25歳～29歳			99						12	87
	30歳～34歳			134					8	30	96
	35歳～39歳			56					9	18	29
	40歳～44歳			29			1		12	7	9
	45歳～49歳			14			1	3	4		6
	50歳～54歳			9		1	2	4		1	1
	55歳～59歳			10	1	1	3				5
	60歳～64歳			0							
	65歳以上			1			1				
小計				378	1	2	8	7	33	69	258
小 山 町	20歳未満			0							
	20歳～24歳			15							15
	25歳～29歳			21							21
	30歳～34歳			32							32
	35歳～39歳			35						3	32
	40歳～44歳			33			2	3	4	13	11
	45歳～49歳			16			6	3	4	1	2
	50歳～54歳			6		2	3	1			
	55歳～59歳			2	1	1					
	60歳～64歳			0							
	65歳以上			0							
小計				160	1	3	11	7	8	17	113

消防団員階級別勤続年数

平成31年4月1日現在

市町別		階級		合計	団長	副団長	分団長 (本部長含む)	副分団長 (副本部長含む)	部長 (本部班長含む)	班長	団員 (機能別団員含む)
		勤続年数									
合計				538	2	6	18	14	41	86	371
御 殿 場 市	5年未満			175					1	8	166
	5年以上～10年未満			128					18	44	66
	10年以上～15年未満			59			7	4	13	14	21
	15年以上～20年未満			12			1	3	1	2	5
	20年以上～25年未満			3		2				1	
	25年以上～30年未満			1	1						
	30年以上			0							
小計				378	1	2	8	7	33	69	258
小 山 町	5年未満			43						1	42
	5年以上～10年未満			43					1	4	38
	10年以上～15年未満			30			1	1	2	4	22
	15年以上～20年未満			27			2	2	4	8	11
	20年以上～25年未満			9			5	3	1		
	25年以上～30年未満			5		2	2	1			
30年以上			3	1	2						
小計				160	1	4	10	7	8	17	113

出動費用弁償

平成 31 年 4 月 1 日現在

(単位：円)

区 分	支給単位	金 額		備 考
		御 殿 場 市	小 山 町	
水 火 災 の 場 合	1 回	2,000	2,000	
警 戒 の 場 合	1 回	1,500	2,000	1回が1日以上にわたるときは1日単位とする。
訓 練 の 場 合	1 回	1,500	1,500	
技 術 職 務 に 従 事 す る 場 合	年 額			主として自動車運転手として年間従事する者に支給する。
定 期 手 入 れ の 場 合	1 回		1,500	月 3 回 実 施

報酬年額

平成 31 年 4 月 1 日現在

(単位：円)

階級 市町別	団 長	副 団 長	本 部 長	副 本 部 長	本 部 班 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機 能 別 団 員
御 殿 場 市	82,500	69,000	50,500	45,500	38,000	50,500	45,500	38,000	37,000	36,500	20,000
小 山 町	70,000	60,000	50,000			46,000	40,000	37,000	35,000	33,000	

消防団編成及び装備

平成 31 年 4 月 1 日現在

区 分 市町別	階 級											機 械			
	合 計	団 長	副 団 長	本 部 長	副 本 部 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	本 部 班 長	班 長	団 員 (機能別消防団員含)	消 防 ポ 動 ン プ 車	そ の 他 の 車 両	可 搬 式 ボ ン プ (車載用) C-1	車 両 計
御 殿 場 市	定 数	396										26	4	27	30
	団 員 数	378	1	2	2	1	6	6	27	6	69	258			
	団 本 部	31	1	2	2	1			1	6	3	15		3	3
	第 1 分 団	96					1	1	7		18	69		7	7
	第 2 分 団	54					1	1	5		10	37		5	5
	第 3 分 団	62					1	1	5		13	42		5	5
	第 4 分 団	44					1	1	3		9	30		3	3
	第 5 分 団	37					1	1	2		6	27		2	3
第 6 分 団	54					1	1	4		10	38		4	4	
小 山 町	定 数	188										7	1	7	8
	団 員 数	160	1	3	4	0	7	7	8	2	15	113			
	団 本 部	16	1	3	4				1	2		5		1	1
	第 1 分 団	24					1	1	1		3	18		1	1
	第 2 分 団	19					1	1	1		2	14		1	1
	第 3 分 団	16					1	1	1		2	11		1	1
	第 4 分 団	19					1	1	1		2	14		1	1
	第 5 分 団	21					1	1	1		2	16		1	1
第 6 分 団	20					1	1	1		2	15		1	1	
第 7 分 団	25					1	1	1		2	20		1	1	

消防団車両配備

平成31年4月1日 現在

市町村	名称	部名	所在地	車名	登録年月	経過年	艤装会社	車種	
御殿場市	御殿場市消防団本部		東田中	トヨタ	15.6	15	-	ワゴン	
					スバル	19.2	12	-	ワゴン
					ダイハツ	24.5	6	-	軽貨物
	第1分団	第1部	御殿場	三菱	28.1	3	畠山	CD-I	
		第2部	深沢	日野	19.2	12	畠山	CD-I	
		第3部	新橋	日野	21.2	10	畠山	CD-I	
		第4部	湯沢	日野	20.2	11	モリタ	CD-I	
		第5部	二枚橋	日野	20.2	11	モリタ	CD-I	
		第6部	仁杉	いすゞ	29.2	2	畠山	CD-I	
		第7部	東山	日野	13.12	17	畠山	CD-I	
	第2分団	第1部	中山	日野	18.2	13	畠山	CD-I	
		第2部	竈	いすゞ	30.2	1	畠山	CD-I	
		第3部	大坂	三菱	27.2	4	畠山	CD-I	
		第4部	駒門	いすゞ	31.1	17	畠山	CD-I	
		第5部	神山	いすゞ	26.3	5	畠山	CD-I	
	第3分団	第1部	森之腰	日野	23.3	8	畠山	CD-I	
		第2部	神場	日野	24.2	7	畠山	CD-I	
		第3部	板妻	日野	16.11	14	畠山	CD-I	
		第4部	保土沢	日野	23.3	8	畠山	CD-I	
		第5部	大沢	日野	22.2	9	畠山	CD-I	
	第4分団	第1部	中畑	いすゞ	30.2	1	畠山	CD-I	
		第2部	茱萸沢	三菱	27.12	3	畠山	CD-I	
		第3部	滝ヶ原	いすゞ	29.2	2	畠山	CD-I	
	第5分団	第1部	時之栖	日野	21.2	10	畠山	CD-I	
				いすゞ	23.2	8	畠山	林野工作	
	第6分団	第2部	印野	日野	18.2	13	畠山	CD-I	
		第1部	塚原	日野	19.2	12	畠山	CD-I	
		第2部	古沢	三菱	27.2	4	畠山	CD-I	
		第3部	上小林	日野	22.2	9	畠山	CD-I	
		第4部	美乃和	日野	17.2	14	畠山	CD-I	
小山町	小山町消防団本部		菅沼	トヨタ	23.2	7	-	ワゴン	
	第1分団	小山	日野	29.2	2	畠山	CD-I		
	第2分団	菅沼	日野	24.2	7	畠山	CD-I		
	第3分団	藤曲	日野	23.2	8	畠山	CD-I		
	第4分団	足柄	日野	17.1	14	畠山	CD-I		
	第5分団	北郷北	日野	19.3	12	畠山	CD-I		
	第6分団	北郷南	いすゞ	30.12	0	畠山	CD-I		
	第7分団	須走	日野	26.2	5	畠山	CD-I		